

平成28年度 業務実績報告書

平成29年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員状況(平成28年4月1日現在)

	氏名	役職
理事長	滝谷 博志	センター院長
副理事長	森嶋 和美	センター副院長兼事務局長
理事	山田 新尚	センター医監
理事	直原 修一	センター副院長
理事	國枝 克行	センター副院長
理事	田垣 春美	センター副院長兼看護部長
理事	森 秀樹	国立大学法人岐阜大学前学長
理事	石井 直子	学校法人岐阜学園理事長
監事	小森 正悟	弁護士 (小森正悟法律事務所)
監事	山田 英貴	公認会計士・税理士 (山田会計事務所)

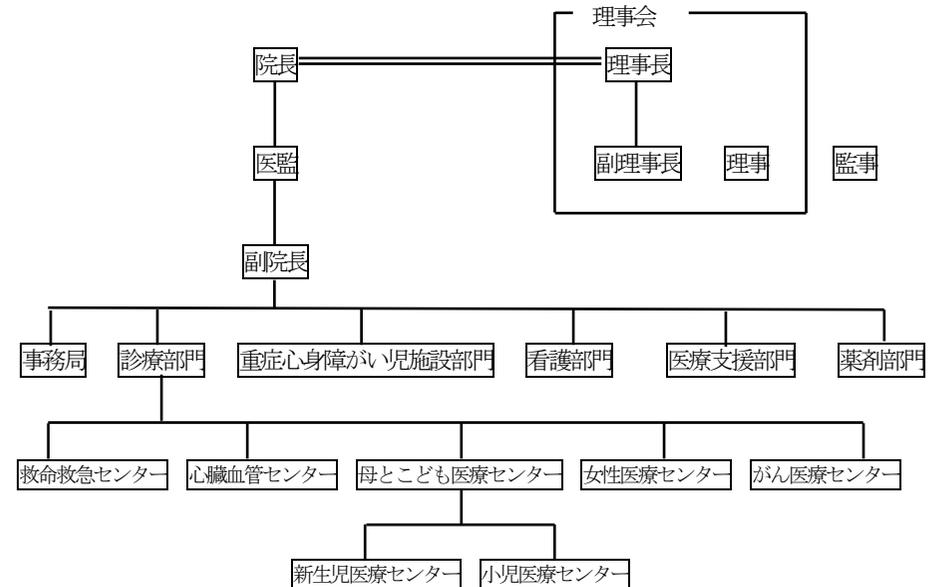
(5) 職員数(平成28年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	171	45	216
看護師等	648	79	727
コメディカル	193	17	210
事務等	75	210	285
合計	1,087	351	1,438

(6) 組織図

平成28年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化及び経営改善を図り、目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努め、内視鏡支援ロボット（ダ・ヴィンチ）の導入、小児集中治療室（PICU）の開設、経常収支比率100%の3年目からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野に入れて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に務める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 沿革

年	月	概要
昭和28年	7月	岐阜県立岐阜病院として開院 (病床数130床)
昭和29年	10月	総合病院の承認を受ける (病床数259床)
昭和43年	2月	救急告示病院に指定
昭和45年	6月	特殊放射線棟新築
昭和47年	8月	東病棟新築 (病床数370床)
昭和49年	3月	厚生省臨床研修病院に指定
昭和58年	9月	西病棟新築 (病床数500床)
昭和58年	11月	救命救急センター開設
昭和63年	3月	中央診療・新生児センター棟新築 (病床数522床)
平成4年	2月	特殊放射線棟増築
平成4年	7月	病院医療総合情報システム導入
平成8年	8月	新生児センター3床増床 (病床数525床)
平成8年	12月	基幹災害拠点病院に指定
平成9年	4月	院外処方箋実施
平成9年	7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更 (病床数530床)
平成11年	8月	クリニカルパス導入
平成11年	11月	25床増床 (病床数555床)
平成13年	6月	病診連携室（平成14年4月より病診連携部に改組）設置
		開放型病床（12床）開設 (平成14年1月より27床)
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得
平成14年	4月	女性専用外来開設
平成14年	10月	医療安全部開設
平成16年	4月	新医師臨床研修病院に指定
平成17年	1月	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成18年	11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更 (病床数590床)
		岐阜県立病院医療総合情報システム（電子カルテ）導入
平成19年	8月	岐阜DMAT指定病院に指定（DMAT：災害派遣医療チームの略）
平成19年	9月	7対1看護体制を取得

平成20年	2月	総合周産期母子医療センターに指定
平成20年	9月	地域医療支援病院に指定
平成21年	4月	DPC（入院包括診療報酬制度）対象病院に指定
平成22年	1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成
平成22年	4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行
平成23年	4月	患者駐車場 500 台の整備
平成24年	3月	DPC 医療機関群 II 群の適用
平成24年	4月	へき地医療拠点病院の指定
平成25年	4月	PICU（小児集中治療室）2床稼働
平成25年	7月	ハイブリッド手術室新設
平成26年	10月	PICU（小児集中治療室）4床稼働
平成27年	7月	PICU（小児集中治療室）6床稼働
平成28年	2月	重症心身障がい児病棟（小児医療センター）完成（病床数 604 床）
平成28年	3月	重症心身障がい児施設「すこやか」運営開始
平成28年	10月	新生児医療センター改修工事完成

(4) その他

理念	県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。
主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> 高度で先進的な急性期医療センター機能 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設 災害時に県下を対象に指定された基幹災害拠点病院及び DMAT 指定病院 エイズ治療拠点病院 地域がん診療連携拠点病院 地域医療支援病院 へき地医療拠点病院 小児救急医療拠点病院 臨床研修指定病院
重点医療	<p>5つの重点医療と7つのセンターによる高度先進医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急医療（救命救急センター） 心臓血管疾患医療（心臓血管センター） 周産期医療とこども医療（母とこども医療センター、小児医療センター、新生児医療センター） がん医療（がん医療センター） 女性医療（女性医療センター）
診療科目	総合診療科／内科／糖尿病・内分泌内科／膠原病科／腎臓内科／心療内科／精神科／精神腫瘍科／神経内科／血液内科／呼吸器内科／感染症内科／外科／消化器外科／大腸外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／呼吸器外科／内視鏡外科／皮膚科／泌尿器科／眼科／耳鼻いんこう科／頭頸部外科／リハビリテーション科／放射線診断科／放射線治療科／歯科口腔外科／病理診断科／病理診断連携科／麻酔科／小児麻酔科／産科麻酔科／救急科／救急外科／小児救急科／脳卒中内科／脳卒中外科／循環器内科／高血圧科／心臓血管外科／不整脈科／産婦人科／成育医療科／母胎科／新生児内科／小児科／小児脳神経外科／小児循環器内科／小児腎臓内科／小児心臓外科／小児外科／小児療育内科／小児感染症内科／女性科／乳腺外科／疼痛緩和内科／疼痛緩和外科／消化器内科／肝臓内科／成人先天性心疾患診療科／脳血管内治療科／臨床栄養科／臨床検査科（65 科目）（平成 28 年 4 月 1 日現在）
病床数	一般病床 604 床（平成 28 年 4 月 1 日現在）
年間延べ患者数	入院 189,660 人 外来 333,749 人

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする7つのセンターを柱として、地域の基幹病院として急性期医療及び政策医療等を提供している。

高度先進医療機器については、医療環境や県民の医療需要の変化、新たな医療課題に対応するため、主要医療機器の更新・整備を計画的に進めている。

また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、長時間勤務の改善を図るとともに、地方独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度による職員の採用を行った。

職員の質の向上については、学会発表・参加をはじめ各種職種における資格取得や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。

また、院内感染防止対策として、感染制御チーム（ICT）が中心となり、院内感染防止マニュアルにより、環境面における改善指導を行うとともに「感染制御システム」を導入し、感染状況や臨床経過、治療状況等を迅速に把握し、効果的な感染制御できる体制を維持した。

患者・住民サービスについては、各部門が待ち時間の短縮への取組を継続するとともに、MRSA感染対策として小児医療センターの病棟拡張工事を実施した。また、院内環境整備として、本館小児科移転後の改修工事や外来診療科の再配置を行ったほか、医療通訳が可能な職員を新たに雇用し、医療に関する相談体制の充実を図った。

また、「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交換を実施するとともに、患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「小児感染症内科」、「小児麻酔科」及び「産科麻酔科」を設置し、65診療科、34の専門外来により各種症例に的確に対応される体制とした。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率 72.3%、逆紹介率 94.1%を達成した。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るための治験事業や調査研究事業について、治験症例及び臨床研究受託研究件数において、前年を上回る結果となった。

また、診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータについて、分析ソフトによる解析やコンサルタントの活用により9診療科の分析を行った。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣した。

医師の卒後臨床研修等の充実については、岐阜大学病院との連携を密にしながら当院独自の研修プログラムをデザイン、充実した研修を推進したことで、初期臨床研修医 33 人、後期研修医 31 人を確保することができた。

また、医学生、看護学生、コメディカルの学生の他、救命救急士等の実習受入についても積極的に行った。

1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療の推進を行った。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県立下呂温泉病院、郡上市市民病院、高山赤十字病院等に対する人的支援を継続したほか、県からへき地医療支援機構の運営を受託した。

保健医療情報の提供・発信については、県民を対象とした健康祭の開催、マスメディアやインターネットを通じた情報提供、広報誌「けんこう」や地域医療連携センター部新聞「れんけい」による情報発信を積極的に行った。

1-5 災害発生時における医療救護

基幹災害拠点病院としてその機能を発揮するため、災害対策訓練や岐阜赤十字病院との情報共有訓練を実施するとともに、熊本地震に対しては、医療救護班を派遣し、避難所における医療支援を行った。

また、被災時における病院機能維持のため、ローカルPCに診療情報を蓄積する仕組みを新たに構築、医療総合情報システムが停止しても診療の継続が可能な環境を整備した。

新型インフルエンザ等対策に関しては、日本病院会が主催する対策訓練に参加した。

1-6 医療型障害児入所施設の運営

平成28年3月に開所した重症心身障がい児のための入所施設「重症心身障がい児施設 すこやか」において、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の長期入所の受入及び療育・生活支援を実施した。併せて、平成28年7月から短期入所（レスパイトケア）の受入を開始し在宅で重症心身障がい児・者をケア・療育されている家族の支援を実施した。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的な診療体制の見直しを進め、平成28年度は、診療科部門において、小児感染症内科、小児麻酔科、産科麻酔科、緩和ケアセンターを設置した。

また、ITの活用やアウトソーシングを適切に進めることにより経営効率が高い業務執行体制の確保に努めた。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

診療材料におけるベンチマークを活用しての価格交渉や、医療機器保守における交渉等による見直しを通じて、コスト削減を図ることができた。

また、収入の確保について、外来診療額は対前年比106.9%、入院診療額は対前年比100.3%と増額となった。

未収金への対応については、その発生防止対策として、入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施した。発生した未収金については、適切に把握し督促等を実施するとともに、回収困難な未収金については、弁護士法人に委託する等厳格な対応を行った。

一方、費用の削減については、医薬品や診療材料等の購入方法を見直すとともに、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品の採用等により費用の削減を図った。

3 予算、収支計画及び資金計画

3-1 決算（平成28年度）

収入については、昨年度に比較して営業収益で約5億3千万円の増額、資本収入で約14億4千万円の減額となり、収入全体で約246億6千万円と約9億4千万円の減額となった。（年度計画に対しては約10億2千万円の増額）

一方、支出については、昨年度に比較して営業費用で約6億4千万円の増額、資本支出で約11億5千万円の減額となり、支出全体で約238億3千万円と約5億3千万円の減額となった。（年度計画に対しては約2億1千万円の増額）

この結果、約8億3千万円の収入超過となった。（年度計画では約2千万円の収入超過）

3-2 収支計画に対する実績（平成28年度）

収益の部については、昨年度に比較して営業収益で約5億3千万円の増額、営業外収益で約1千万円の減額となり、収益の部全体で約228億円と約4億9千万円の増額となった。（年度計画に対しては約4億1千万円の増額）

一方、費用の部については、昨年度に比較して営業費用で約8億3千万円増額、営業外費用で約1億2千万円の減額となり、費用の部全体で約230億7千万円と約6億8千万円の増額となった。（年度計画に対しては約6億9千万円の増額）

この結果、約2億7千万円の純損失となった。（年度計画では約1千万円の純利益）

3-3 資金計画に対する実績（平成28年度）

資金収入については、昨年度に比較して業務活動における収入で約8億3千万円の増額、投資活動による収入で約2億5千万円の増額、財務活動による収入で約11億3千万円の減額となった。

一方、資金支出については、昨年度に比較して業務活動における支出で約7億7千万円の増額、投資活動による支出で約22億2千万円の減額、財務活動による支出で約13億8千万円の増額となった。

この結果、資金収入全体及び資金支出全体で約405億8千万円と約5億6千万円の増額となり（年度計画に対しては約22億2千万円の増額）、次年度繰越金が約164億2千万円となった。（年度計画では約150億2千万円）

<目標とする経営指標>

経常収支比率（経常収益／経常費用）が98.8%、材料費比率（材料費／医業収益）が31.4%と年度計画の目標を若干下回ったが、人件費比率（給与費／医業収益）については48.9%と年度計画の目標を達成することができた。

○経営指標比較

単位：%

項目／年度	H26 実績	H27 実績	H28 計画	H28 実績	中期計画
経常収支比率	101.6	99.6	100	98.8	100
人件費比率 ※	47.5	48.4	50	48.9	50
材料費比率 ※	29.7	30.9	30	31.4	—

※重症心身障がい児施設を除く

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の整備については、改正雇用機会均等法や改正有児介護休業法に対応するため、ハラスメント防止規程の改正等を行った。

健康管理については、地方独立行政法人化前の同水準以上の定期健康診断や人間ドック等の検診を実施するとともに、新たにストレスチェックを実施した。

また、職員の安心な勤務環境づくりとして、院内保育所の24時間保育を実施しているが、更なる利便性の向上の為、平成28年度から病児・病後児保育を開始するとともに、保育業務を外部に委託した。

医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、心臓血管撮影装置等の整備を行った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅳ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅳ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅲ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅳ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅲ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	Ⅲ	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	15	Ⅳ	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	Ⅲ	
1-6 医療型障害時入所施設の運営			
1-6-1 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備	17	Ⅲ	
1-6-2 在宅医療支援体制の充実	18	Ⅲ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	19	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	20	Ⅲ	
2-1-3 事務部門の専門性の向上	21	Ⅲ	
2-1-4 コンプライアンスの徹底	22	Ⅲ	
2-1-5 適切な情報管理	23	Ⅳ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	24	Ⅳ	
2-2-2 収入の確保	25	Ⅳ	
2-2-3 費用の削減	26	Ⅲ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	27	Ⅲ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	28	Ⅳ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	29	Ⅲ	
8-3 医療機器・施設整備に関する事項	30	Ⅲ	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	Ⅲ	
8-5 積立金の使途	32	Ⅲ	

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入など IT の活用に努めること。 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」及び「女性と子ども医療」を重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。 なお、子ども医療については、小児救命救急センターの設置など、拠点としての機能の一層の充実を図ること。</p>
------	--

項目No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証							
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項						
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>・年度当初看護師人数 (H27:619人 → H28:648人) の増員などで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、7:1看護体制を上回る体制を確保できた。</p> <p>○医師等の確保状況 単位: 人</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>項目/年度</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	<p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>機器名等</td> <td>整備目的・用途等</td> </tr> </table>	機器名等	整備目的・用途等	IV		
項目/年度	H26	H27	H28									
機器名等	整備目的・用途等											

項目No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組				その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)					自己評価	評価委員会の検証																																																								
												検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																							
3	大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	常勤医師数	161	167	166	心臓血管撮影装置 循環器内科領域において使用 シーリングペンダント 新生児内科領域において使用 ※3千万円以上の高額機器 ○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位:件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名/年度</th> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>88</td> <td>131</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>26,316</td> <td>26,476</td> <td>19,368</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>491</td> <td>700</td> <td>655</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>H26</td> <td>8</td> <td>96</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>0</td> <td>2,454</td> <td>2,571</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>0</td> <td>8,518</td> <td>8,454</td> </tr> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>96</td> <td>812</td> </tr> <tr> <td>全身用コンピューター断層装置(CT装置)(H28.3稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>316</td> <td>10,315</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)</td> <td>H27</td> <td>—</td> <td>263</td> <td>1,109</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)</td> <td>H28</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table> 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・高度専門医療の水準の維持・向上のため、医師の研修派遣を積極的に推進した。	機器名/年度	年度	H26	H27	H28	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	88	131	131	X線CT装置	H25	26,316	26,476	19,368	エキシマレーザー血管形成装置	H25	22	14	24	ハイブリッド手術システム	H25	491	700	655	手術用顕微鏡	H26	8	96	146	循環器画像保存システム	H26	0	2,454	2,571	内視鏡ファイリングシステム	H26	0	8,518	8,454	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	—	96	812	全身用コンピューター断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	—	316	10,315	心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	—	263	1,109	心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	—	—	201		
機器名/年度	年度	H26	H27	H28																																																																
内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	88	131	131																																																																
X線CT装置	H25	26,316	26,476	19,368																																																																
エキシマレーザー血管形成装置	H25	22	14	24																																																																
ハイブリッド手術システム	H25	491	700	655																																																																
手術用顕微鏡	H26	8	96	146																																																																
循環器画像保存システム	H26	0	2,454	2,571																																																																
内視鏡ファイリングシステム	H26	0	8,518	8,454																																																																
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	—	96	812																																																																
全身用コンピューター断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	—	316	10,315																																																																
心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	—	263	1,109																																																																
心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	—	—	201																																																																
4	認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	常勤歯科医師数	3	3	3																																																															
5	コメディカルに対する専門研修の実施	常勤看護師数	574	597	609																																																															
6	E BMの推進	※年度末現在																																																																		
7	専門性を発揮したチーム医療の推進	5 コメディカルに対する専門研修の実施 ・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。																																																																		
8	メディカカードの導入などのITの活用	○専門研修への参加状況 単位:人																																																																		
9	医療安全対策の充実	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>198</td> <td>214</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>117</td> <td>146</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>40</td> <td>23</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>85</td> <td>94</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>510</td> <td>547</td> <td>687</td> </tr> </tbody> </table>				項目/年度	H26	H27	H28	薬剤師	198	214	231	臨床検査技師	117	146	174	臨床工学技士	40	23	50	リハビリ技師	59	58	43	管理栄養士	11	12	15	放射線技師	85	94	174	合計	510	547	687																															
項目/年度	H26	H27	H28																																																																	
薬剤師	198	214	231																																																																	
臨床検査技師	117	146	174																																																																	
臨床工学技士	40	23	50																																																																	
リハビリ技師	59	58	43																																																																	
管理栄養士	11	12	15																																																																	
放射線技師	85	94	174																																																																	
合計	510	547	687																																																																	
10	院内感染防止対策の確立	○主な専門研修・講習会等																																																																		
		【中央放射線部】 ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学術総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ※H28年度資格取得者 ・X線CT認定技師1人 ・救急撮影認定技師2人 ・アドバンス診療放射線技師1人 【臨床検査科】、【病理センター】 ・日本臨床衛生検査技師会																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)				自己 評価	評価委員会の検証																																																																																										
								検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県病院薬剤師会研修会 ・医療薬学フォーラム ※H28 年度資格取得者 ・日本糖尿病療養指導士1人 ・周術期管理チーム認定薬剤師1人 ・救急認定薬剤師1人 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>19</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>22</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>				項目/年度		H26	H27	H28	認定	がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	3	3	3	救急看護	2	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	1	1	2	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	認定看護管理者	1	2	2	慢性心不全	-	1	1	緩和ケア	-	1	1	計		19	22	23	専門	小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計		3	3	3	合計		22	25	26		
項目/年度		H26	H27	H28																																																																																														
認定	がん化学療法	2	2	2																																																																																														
	がん性疼痛	1	1	1																																																																																														
	感染管理	3	3	3																																																																																														
	救急看護	2	2	2																																																																																														
	小児救急	1	1	1																																																																																														
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																														
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																														
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																																														
	集中ケア	1	1	2																																																																																														
	糖尿病看護	1	1	1																																																																																														
	がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																														
	乳がん看護	1	1	1																																																																																														
	認定看護管理者	1	2	2																																																																																														
	慢性心不全	-	1	1																																																																																														
緩和ケア	-	1	1																																																																																															
計		19	22	23																																																																																														
専門	小児看護	2	2	2																																																																																														
	がん看護	1	1	1																																																																																														
計		3	3	3																																																																																														
合計		22	25	26																																																																																														
		<ul style="list-style-type: none"> 【中央リハビリテーション部】 ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー ※H28 年度資格取得者 ・呼吸療法認定士3人 																																																																																																
		<ul style="list-style-type: none"> 【栄養センター】 ・自治体病院栄養部会研修会 ・日本心臓リハビリ学会東海支部地方会 ・日本静脈経腸栄養学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・日本栄養アセスメント研究会 ・食事療法学会 ・日本腎不全栄養研究会学術集会 																																																																																																
		<ul style="list-style-type: none"> 【臨床工学部】 ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会) ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー ※H28 年度資格取得者 ・ホスピタルエンジニア 1人 																																																																																																
			<p>○研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td> 【長期】 ・集中ケア H27.4 ~ H27.12 1人 (H28 資格取得) 【短期】 ・認定看護管理制度 H27:1人-H28:0人 ・実習指導者講習会 H27:2人-H28:2人 </td> </tr> </tbody> </table>				項目	内 容	認定看護師	【長期】 ・集中ケア H27.4 ~ H27.12 1人 (H28 資格取得) 【短期】 ・認定看護管理制度 H27:1人-H28:0人 ・実習指導者講習会 H27:2人-H28:2人																																																																																								
項目	内 容																																																																																																	
認定看護師	【長期】 ・集中ケア H27.4 ~ H27.12 1人 (H28 資格取得) 【短期】 ・認定看護管理制度 H27:1人-H28:0人 ・実習指導者講習会 H27:2人-H28:2人																																																																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証									
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
			<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全研修 H27:1 人→H28:3 人 ・岐阜県教員養成講習会 H27:1 人→H28:0 人 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">学会等参加</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 </td> </tr> </table> <p>H27:延べ602 人→H28:延べ819 人</p> <p>6 EBM の推進 ・医療の質の向上を目指したクリニカルパスの作成方法の習得を推進し、チーム医療の意識浸透を図ることを目的とする研修会を3回実施、227 人（多職種）の参加を得た。</p> <p>○クリニカルパス作成種類数 単位：種類</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>319</td> <td>336</td> <td>337</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進 ・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。 <主な医療チーム> ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NST チーム、摂食嚥下チーム</p> <p>8 メディカカードの導入などの IT の活用 ・救急医療現場での活用を図るため、心臓疾患の患者にメディカカードの作成を勧めた。 発行累計 H27:9 件 → H28:12 件</p>	学会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 	H26	H27	H28	319	336	337			
学会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護学会 ・全国看護セミナー ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・その他 看護学会等 													
H26	H27	H28												
319	336	337												

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																													
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																													
			<p>9 医療安全対策の充実</p> <p>・発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事例につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方策を検討した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>326</td> <td>430</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,873</td> <td>2,007</td> <td>1,804</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>445</td> <td>538</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>レベル3 a</td> <td>346</td> <td>340</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td>小計 (インシデント)</td> <td>2,990</td> <td>3,315</td> <td>3,100</td> </tr> <tr> <td>レベル3 b</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計 (アクシデント)</td> <td>54</td> <td>61</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,044</td> <td>3,376</td> <td>3,170</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療安全研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 H27:16回 延べ3,293人 → H28:16回 延べ3,621人</p> <p>10 院内感染防止対策の確立 <新生児センター> ・毎週火曜日、監視培養を継続的に実施している。 ・MRSA の新規検出については、平成 27 年度 14 名から平成 28 年度 7 名と 50%減少した。 <その他> ・週 1 回、ICT による病棟ラウンドを実施するとともに、改善結果を感染防止委員会で報告した。 ・感染制御支援システムを活用し、接触患者リストの作成や菌検出推移の把握を行うとともに、カテーテルなどのデバイス数</p>	項目/年度	H26	H27	H28	レベル0	326	430	411	レベル1	1,873	2,007	1,804	レベル2	445	538	559	レベル3 a	346	340	326	小計 (インシデント)	2,990	3,315	3,100	レベル3 b	54	61	68	レベル4	0	0	2	レベル5	0	0	0	小計 (アクシデント)	54	61	70	合計	3,044	3,376	3,170			
項目/年度	H26	H27	H28																																															
レベル0	326	430	411																																															
レベル1	1,873	2,007	1,804																																															
レベル2	445	538	559																																															
レベル3 a	346	340	326																																															
小計 (インシデント)	2,990	3,315	3,100																																															
レベル3 b	54	61	68																																															
レベル4	0	0	2																																															
レベル5	0	0	0																																															
小計 (アクシデント)	54	61	70																																															
合計	3,044	3,376	3,170																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																									
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																								
			<p>をカウントし、各部署における感染率の経過を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症専門医による抗菌薬の適正指導や、手指消毒剤使用量が増加したものの、新規MRSA 検出数が3.8%増加した。 ・感染防止研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 <p>H27:29回 延べ3,011人 → H28:25回 延べ3,575人</p>																											
02	<p>※ 患者・住民サービスの向上</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>4 患者中心の医療の提供</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p>	<p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ＜外来部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 ・看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施 ・入院患者に対する説明の一元化 ・病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底 </div> <p>・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施 ・診療科に即したパンフレットや図書を配置 </div> <p>・患者満足度調査等による待ち時間の把握 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数の減少に伴い平均待ち時間が微減し、30分以内の待ち時間患者の割合が9.9%増加した。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p>	H26	H27	H28	24	28	27	<p>4 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の権利や個人情報保護に関する方針をロビーやホームページに掲示した。 ・患者や家族からの請求による個人情報の開示を行った。 <p>○個人情報開示件数 単位：件</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116</td> <td>126</td> <td>166</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備し、相談件数の増加を図った。 <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>46</td> <td>59</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県総合医療センター運営協議会を2回開催し、地域の代表者等と意見交換を実施した。 ・平成28年10月に病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、身だしなみチェックやあいさつの啓発等具体的な取組を実施した。 	H26	H27	H28	116	126	166	項目/年度	H26	H27	H28	外来受入	22	23	26	他院紹介	46	59	71	IV		
H26	H27	H28																												
24	28	27																												
H26	H27	H28																												
116	126	166																												
項目/年度	H26	H27	H28																											
外来受入	22	23	26																											
他院紹介	46	59	71																											

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組				その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																					
		年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～			検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.1</td> <td>35.0</td> <td>56.4</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>H29.1</td> <td>51.1</td> <td>43.0</td> <td>5.9</td> </tr> </tbody> </table> <p><臨床検査部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査（生理検査部門）技師を増員することで、待ち時間の短縮を図った。 H27：8.0人 → H28：9.5人 診療科からの要望に対応し、8月から乳腺エコー室を移動、業務の集約と枠の増設を図った。 超音波検査件数については増加したものの、全体として待ち時間の短縮が認められ、90分超の待ち時間の減少がみられた。 待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、1ブースの増設を図った。 H27：4ブース → H28：5ブース <p>○超音波検査件数（外来分） H27：19,246件 → H28：19,684件（2.3%増）</p> <p>○超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.4</td> <td>1,955件</td> <td>65.8%</td> <td>24.3%</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>H27.4</td> <td>2,078件</td> <td>72.6%</td> <td>22.2%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>H28.4</td> <td>2,066件</td> <td>73.9%</td> <td>22.8%</td> <td>3.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p><中央放射線部門></p> <ul style="list-style-type: none"> CT検査での予約枠を検査内容で装置ごとに振り分ける取組や、MRI検査での時間外検査枠を設ける取組を継続した。 <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>29,960</td> <td>7,049</td> <td>11,840</td> <td>2,470</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30,425</td> <td>7,074</td> <td>12,334</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,185</td> <td>6,878</td> <td>10,636</td> <td>2,067</td> </tr> </tbody> </table>	年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H27.1	35.0	56.4	8.6	H28.1	41.2	49.2	9.6	H29.1	51.1	43.0	5.9	年月/項目	総数	60分未満	～90分	90分超	H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%	H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%	H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%	年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	H26	29,960	7,049	11,840	2,470	H27	30,425	7,074	12,334	2,664	H28	31,185	6,878	10,636	2,067			
年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																																										
H27.1	35.0	56.4	8.6																																																										
H28.1	41.2	49.2	9.6																																																										
H29.1	51.1	43.0	5.9																																																										
年月/項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																																									
H26.4	1,955件	65.8%	24.3%	9.9%																																																									
H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%																																																									
H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%																																																									
年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																																									
H26	29,960	7,049	11,840	2,470																																																									
H27	30,425	7,074	12,334	2,664																																																									
H28	31,185	6,878	10,636	2,067																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
		<p><手術部門></p> <ul style="list-style-type: none"> 手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。 <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率 (単位：%)</td> <td>66.8</td> <td>68.7</td> <td>66.8</td> </tr> <tr> <td>件 数 (単位：件)</td> <td>6,992</td> <td>7,325</td> <td>7,264</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 新生児センターにおけるMRSA感染対策として、入院患者をコントロールすることなく保育器とコットの間隔を1.2m以上あけることができるよう、病棟の面積拡張工事を行った。(病床は40床で変更なし) 患者や来院者に、より快適な環境を提供するため、本館小児科診察室移転跡の改修工事を行い、外来診療科の再配置を行った。 治療効果を上げるため、病名と病態にあった病院給食を提供できるよう入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。 患者の嗜好に配慮した病院給食とするため、平成28年度嗜好調査を実施するとともに、行食事提供時の意見収集を行いホームページで公表した。 「提案箱」に寄せられた意見に係る回答を院内に掲示するまでの期間を1か月から2週間に短縮した。 <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。 外国人の受診を支援するため、県国際交流センターに医療通訳ボランティアの派遣を依頼するとともに、平成28年度から医療通訳が可能な職員を新たに雇用した。 <p>○医療相談件数 単位：件</p>	項目／年度	H26	H27	H28	稼働率 (単位：%)	66.8	68.7	66.8	件 数 (単位：件)	6,992	7,325	7,264			
項目／年度	H26	H27	H28														
稼働率 (単位：%)	66.8	68.7	66.8														
件 数 (単位：件)	6,992	7,325	7,264														

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組			その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																					
		H26	H27	H28			検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
		4,033	4,687	4,914																								
		○カルテ開示請求・開示件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>123</td> <td>133</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>116</td> <td>126</td> <td>166</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	H26	H27	H28	請求件数	123	133	172	開示件数	116	126	166												
項目／年度	H26	H27	H28																									
請求件数	123	133	172																									
開示件数	116	126	166																									
		○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>32</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>7</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	H27	H28	病院の環境	5	3	患者等からの相談	32	28	患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	患者等からの苦情	40	39	その他	22	12						
項目／年度	H27	H28																										
病院の環境	5	3																										
患者等からの相談	32	28																										
患者相談対応力向上のための事例検討	7	17																										
患者等からの苦情	40	39																										
その他	22	12																										
		○医療通訳病院職員対応件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>スペイン語、他</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>542</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	H28	中国語	134	英語	224	スペイン語、他	184	合計	542														
項目／年度	H28																											
中国語	134																											
英語	224																											
スペイン語、他	184																											
合計	542																											
		○医療通訳ボランティア派遣依頼件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>148</td> <td>258</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>41</td> <td>23</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>34</td> <td>50</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>223</td> <td>331</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table>			項目／年度	H26	H27	H28	ポルトガル語	148	258	184	中国語	41	23	0	タガログ語	34	50	28	合計	223	331	212				
項目／年度	H26	H27	H28																									
ポルトガル語	148	258	184																									
中国語	41	23	0																									
タガログ語	34	50	28																									
合計	223	331	212																									
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即				1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービ	III																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用		<p>スを提供することができた。</p> <p>○組織・診療科等の新設</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・経営企画課「物品調達担当」及び「物品管理担当」の新設（経営企画課「用度担当」の分割） ・「管財課」の新設 ・医事課「相談室」及び「相談担当」の新設 ・病理診断科「病理細胞診検査担当」の新設 ・小児医療センター「小児感染症内科」の新設 ・がん医療センター「緩和ケアセンター」の新設（「緩和ケアチーム」のセンター化） ・「重心施設運営室」及び「重心施設運営担当」の新設 ・中央放射線部「放射線第五担当」の新設 ・地域医療連携センター部「退院サポート部」の新設（「退院調整室」と「自宅退院・サポートセンター部」との統合） ・「小児麻酔科」・「産科麻酔科」の新設 </div> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 H27: 7人 → H28: 7人 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。 看護師 H27: 4人 → H28: 3人 診療放射線技師 H27: 3人 → H28: 3人 臨床検査技師 H27: 1人 → H28: 2人 薬剤師 H27: 1人 → H28: 2人 			
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率・逆紹介率について、年度計画（紹介率50%以上、逆紹介率70%以上）の目標を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。 紹介率 H27:64.1% → H28:72.3% 逆紹介率 H27:84.2% → H28:94.1% 	<p>3 救急医療コミュニティシステムの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療情報連携地域協議会に参加し、コミュニティシステムを積極的に活用する体制を維持した。 また、岐阜県地域医療連携ネットワーク協議会に参加し、電子カルテ情報を他の医療機関から閲覧可能な環境を維持、平成28年度末までの公開累計患者数は、9診療所等に対し110人となった。 	IV		

項目No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																																																																								
				検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																								
2	地域連携パスの作成への参加協力及び普及推進	<p>2 地域連携パスの作成への参加協力及び普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。 ・地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携パスに係る学習会（学習会:21回、コーディネーター検討会:12回、専門部会・運営委員会:3回）に積極的に参加した。 ・地域連携パスの院内での普及を進めており、現在14種類の運用を行っている。 <p>○地域連携パスの運用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>急性心筋梗塞</td><td>23</td><td>27</td><td>110</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>120</td><td>103</td><td>115</td></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>334</td><td>334</td><td>356</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ1</td><td>35</td><td>39</td><td>30</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ2・3</td><td>6</td><td>5</td><td>9</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>49</td><td>59</td><td>58</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>19</td><td>55</td><td>60</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>26</td><td>15</td><td>5</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>22</td><td>35</td><td>16</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>4</td><td>30</td><td>13</td></tr> <tr><td>COPD</td><td>3</td><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>泌尿器</td><td>32</td><td>50</td><td>81</td></tr> <tr><td>合計</td><td>676</td><td>756</td><td>859</td></tr> </tbody> </table>	連携パス名	H26	H27	H28	急性心筋梗塞	23	27	110	大腿骨頸部骨折	120	103	115	脳卒中	334	334	356	胃癌ステージ1	35	39	30	胃癌ステージ2・3	6	5	9	肝がん	2	0	0	大腸がん	49	59	58	乳がん	19	55	60	肝炎	26	15	5	肺がん	22	35	16	糖尿病	4	30	13	COPD	3	3	5	CKD	1	1	1	泌尿器	32	50	81	合計	676	756	859	<p>4 在宅医療・療養へ移行するための地域の介護・福祉機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン病床クリニカルミーティングを1回開催し、73人の参加を得た。 ・在宅医療・療養への移行に当たっては、退院後の在宅医療を担う医療機関の医師、看護師、訪問看護ステーションの看護師等と退院前合同カンファレンスを実施した。 また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対しては、ケアマネージャーと連携した退院指導を実施した。 ・転院先の医療機関を訪問し、「顔のみえる連携」を図るとともに、医療機関の情報収集を行った結果、在宅復帰率75%の目標を達成することができた。 H27:93.3% → H28:94.1% <p>○開放型病床利用率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41.4</td> <td>103.8</td> <td>102.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開放型病床 H26:100床 → H27:20床</p> <p>○退院調整件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,777</td> <td>1,684</td> <td>1,747</td> </tr> </tbody> </table> <p>○介護施設・ケアマネージャーからの連携連絡票受理件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>308</td> <td>330</td> <td>333</td> </tr> </tbody> </table> <p>○退院前合同カンファレンスの実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>145</td> <td>136</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	41.4	103.8	102.0	H26	H27	H28	1,777	1,684	1,747	H26	H27	H28	308	330	333	H26	H27	H28	145	136	131		
連携パス名	H26		H27	H28																																																																																									
急性心筋梗塞	23		27	110																																																																																									
大腿骨頸部骨折	120		103	115																																																																																									
脳卒中	334	334	356																																																																																										
胃癌ステージ1	35	39	30																																																																																										
胃癌ステージ2・3	6	5	9																																																																																										
肝がん	2	0	0																																																																																										
大腸がん	49	59	58																																																																																										
乳がん	19	55	60																																																																																										
肝炎	26	15	5																																																																																										
肺がん	22	35	16																																																																																										
糖尿病	4	30	13																																																																																										
COPD	3	3	5																																																																																										
CKD	1	1	1																																																																																										
泌尿器	32	50	81																																																																																										
合計	676	756	859																																																																																										
H26	H27	H28																																																																																											
41.4	103.8	102.0																																																																																											
H26	H27	H28																																																																																											
1,777	1,684	1,747																																																																																											
H26	H27	H28																																																																																											
308	330	333																																																																																											
H26	H27	H28																																																																																											
145	136	131																																																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																	
			○病院先医療機関への訪問件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>12</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	14	12	56																																													
H26	H27	H28																																																				
14	12	56																																																				
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救命救急センター(救命救急医療) 2 心臓血管センター(心臓血管疾患医療) 3 母とこども医療センター(周産期医療) 4 がん医療センター(がん医療) 5 女性医療センター(女性医療) 6 小児医療センター(こども医療)		1 救命救急センター(救命救急医療) ・岐阜地域の救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救命救急疾患に対し全診療科が対応、当院での救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を 24 時間体制で受け入れた。 ・受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による 24 時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の 24 時間呼び出しにより、緊急手術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。 ○病床利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数 (単位：人)</td> <td>8,627</td> <td>8,709</td> <td>8,650</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (単位：%)</td> <td>78.8</td> <td>79.3</td> <td>79.0</td> </tr> </tbody> </table> ○救急車受入状況 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>5,963</td> <td>6,104</td> <td>5,851</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>16.3</td> <td>16.7</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table> ○救急外来患者 (診療科別：上位のみ) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>8,678</td> <td>9,215</td> <td>7,468</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,157</td> <td>3,111</td> <td>2,835</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>3,211</td> <td>3,329</td> <td>2,911</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>4,552</td> <td>4,870</td> <td>4,295</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,018</td> <td>2,200</td> <td>1,817</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	延入院患者数 (単位：人)	8,627	8,709	8,650	病床利用率 (単位：%)	78.8	79.3	79.0	項目/年度	H26	H27	H28	救急車受入件数	5,963	6,104	5,851	一日平均件数	16.3	16.7	16.0	項目/年度	H26	H27	H28	小児科	8,678	9,215	7,468	消化器内科	3,157	3,111	2,835	整形外科	3,211	3,329	2,911	総合診療科	4,552	4,870	4,295	外科	2,018	2,200	1,817	III		
項目/年度	H26	H27	H28																																																			
延入院患者数 (単位：人)	8,627	8,709	8,650																																																			
病床利用率 (単位：%)	78.8	79.3	79.0																																																			
項目/年度	H26	H27	H28																																																			
救急車受入件数	5,963	6,104	5,851																																																			
一日平均件数	16.3	16.7	16.0																																																			
項目/年度	H26	H27	H28																																																			
小児科	8,678	9,215	7,468																																																			
消化器内科	3,157	3,111	2,835																																																			
整形外科	3,211	3,329	2,911																																																			
総合診療科	4,552	4,870	4,295																																																			
外科	2,018	2,200	1,817																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)				自己 評価	評価委員会の検証																																												
								検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																											
			循環器内科	1,880	2,049	1,926																																														
			神経内科	1,447	1,390	1,357																																														
			その他	7,480	7,855	6,744																																														
			合計	32,423	34,019	29,353																																														
			<p>2 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携してチーム医療を行う県内初の施設として、心臓血管系の疾患患者に対応するとともに、不整脈科等設置した専門の診療科において、それぞれの患者に最適な治療を提供することができた。 年間の手術件数は319件で、心臓外科領域では冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が48件、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が76件であった。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が82件、動脈バイパス術などの末梢血管が33件あった。 <p>○手術・検査数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,406</td> <td>1,397</td> <td>1,274</td> </tr> <tr> <td>PCI(経皮的冠動脈形成術)</td> <td>467</td> <td>484</td> <td>476</td> </tr> </tbody> </table> <p>○循環器系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ablation(アブレーション)</td> <td>226</td> <td>242</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>PMI(周術期心筋梗塞)</td> <td>107</td> <td>116</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>CRT(心臓再同期療法)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ICD(植込み型除細動器)</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>CRT-D(両室ペーシング機能付植込み型除細動器)</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○心臓血管系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目／年度	H26	H27	H28	心臓カテーテル	1,406	1,397	1,274	PCI(経皮的冠動脈形成術)	467	484	476	項目／年度	H26	H27	H28	Ablation(アブレーション)	226	242	260	PMI(周術期心筋梗塞)	107	116	121	CRT(心臓再同期療法)	5	1	4	ICD(植込み型除細動器)	21	22	22	CRT-D(両室ペーシング機能付植込み型除細動器)	4	13	3	項目／年度	H26	H27	H28						
項目／年度	H26	H27	H28																																																	
心臓カテーテル	1,406	1,397	1,274																																																	
PCI(経皮的冠動脈形成術)	467	484	476																																																	
項目／年度	H26	H27	H28																																																	
Ablation(アブレーション)	226	242	260																																																	
PMI(周術期心筋梗塞)	107	116	121																																																	
CRT(心臓再同期療法)	5	1	4																																																	
ICD(植込み型除細動器)	21	22	22																																																	
CRT-D(両室ペーシング機能付植込み型除細動器)	4	13	3																																																	
項目／年度	H26	H27	H28																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)			自己 評価	評価委員会の検証																																																			
							検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																		
			<table border="1"> <tr> <td>EVAR (ステントグラフト内挿術)</td> <td>65</td> <td>57</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>TEVAR (胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>TAVI (TAVR) (経口カテーテル大動脈弁置換術)</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>40</td> </tr> </table>	EVAR (ステントグラフト内挿術)	65	57	55	TEVAR (胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	20	24	26	TAVI (TAVR) (経口カテーテル大動脈弁置換術)	16	17	40																																											
EVAR (ステントグラフト内挿術)	65	57	55																																																							
TEVAR (胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術)	20	24	26																																																							
TAVI (TAVR) (経口カテーテル大動脈弁置換術)	16	17	40																																																							
			<p>3 母とこども医療センター(周産期医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。 ・当院を受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間態勢で受け入れた。 <p>○母体搬送の受入件数 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>142(5)</td> <td>111(9)</td> <td>86(7)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () はヘリコプター搬送《内数》</p> <p>○産科合併症 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>112</td> <td>82</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>PIH</td> <td>48</td> <td>43</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>IUGR</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○合併症妊娠 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>13</td> <td>69</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	母体搬送	142(5)	111(9)	86(7)	救急搬送	21	23	6	項目/年度	H26	H27	H28	早産	112	82	78	PIH	48	43	35	常位胎盤・早期剥離	8	10	12	胎盤位置異常	30	18	20	羊水の異常	10	6	15	胎児異常	33	36	32	IUGR	9	10	5	項目/年度	H26	H27	H28	婦人科系疾患	13	69	54			
項目/年度	H26	H27	H28																																																							
母体搬送	142(5)	111(9)	86(7)																																																							
救急搬送	21	23	6																																																							
項目/年度	H26	H27	H28																																																							
早産	112	82	78																																																							
PIH	48	43	35																																																							
常位胎盤・早期剥離	8	10	12																																																							
胎盤位置異常	30	18	20																																																							
羊水の異常	10	6	15																																																							
胎児異常	33	36	32																																																							
IUGR	9	10	5																																																							
項目/年度	H26	H27	H28																																																							
婦人科系疾患	13	69	54																																																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)			自己 評価	評価委員会の検証	
							検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			心・血管疾患	21	60	59		
			血液疾患	2	3	2		
			腎疾患	4	3	5		
			糖尿病・妊娠性糖尿病	20	26	21		
			甲状腺疾患	12	27	21		
			自己免疫・膠原病	4	2	3		
			呼吸器疾患	11	32	21		
			消化器疾患	4	5	6		
			精神・神経系	9	20	25		
			運動機能系	0	0	0		
			○ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位: 件					
			項目／年度	H26	H27	H28		
			総合周産期加算	276	230	206		
			ハイリスク妊娠	58	25	46		
			ハイリスク分娩	21	18	18		
			救急加算	158	123	88		
			○保健指導実績 単位: 件					
			項目／年度	H26	H27	H28		
			保健指導	809	1,024	868		
			母乳相談	169	140	127		
			<新生児医療センターの運営>					
			<ul style="list-style-type: none"> ・MRSA 感染対策として、入院患者をコントロールすることなく保育器とコットの間隔を 1.2m 以上あけることができるよう、病棟の面積拡張工事を行った。(病床は 40 床で変更なし) [再掲] ・母体搬送の減少に伴い院内出生数が減少した。 					
			○出生、母体搬送件数 単位: 件					
			項目／年度	H26	H27	H28		
			院内出生	177	136	115		
			院外出生	62	63	73		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)			自己 評価	評価委員会の検証																																																														
							検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																													
			<table border="1"> <tr> <td>母体搬送</td> <td>88</td> <td>62</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>40</td> </tr> </table> <p>○新生児手術状況 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 がん医療センター(がん医療) ・がん診療拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供することができた。</p> <p>○がん患者数 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,490</td> <td>2,668</td> <td>2,689</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>58,447</td> <td>61,295</td> <td>63,281</td> </tr> <tr> <td>院内死亡がん患者</td> <td>90</td> <td>93</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療従事者や一般市民を対象とした研修会を開催し、がん医療に係る啓発を行った。</p> <p>○院内研修会の実施状況 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内 容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>医療従事者</td> <td>抗がん薬リスクと合同ガイドラインについて</td> <td>242 (9)</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>一般市民</td> <td>治療しながら安心して暮らそう</td> <td>83 (59)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>医療従事者</td> <td>がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会</td> <td>41 (18)</td> </tr> </tbody> </table>	母体搬送	88	62	48	超低出生体重児	23	27	23	極低出生体重児	45	39	40	項目／年度	H26	H27	H28	小児心臓外科	8	9	3	小児脳神経外科	6	7	5	小児外科	18	14	16	耳鼻科(気管切開)	2	0	1	項目／年度	H26	H27	H28	入院	2,490	2,668	2,689	外来	58,447	61,295	63,281	院内死亡がん患者	90	93	81	開催月	対象	内 容	参加者	7月	医療従事者	抗がん薬リスクと合同ガイドラインについて	242 (9)	7月	一般市民	治療しながら安心して暮らそう	83 (59)	9月	医療従事者	がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	41 (18)		
母体搬送	88	62	48																																																																		
超低出生体重児	23	27	23																																																																		
極低出生体重児	45	39	40																																																																		
項目／年度	H26	H27	H28																																																																		
小児心臓外科	8	9	3																																																																		
小児脳神経外科	6	7	5																																																																		
小児外科	18	14	16																																																																		
耳鼻科(気管切開)	2	0	1																																																																		
項目／年度	H26	H27	H28																																																																		
入院	2,490	2,668	2,689																																																																		
外来	58,447	61,295	63,281																																																																		
院内死亡がん患者	90	93	81																																																																		
開催月	対象	内 容	参加者																																																																		
7月	医療従事者	抗がん薬リスクと合同ガイドラインについて	242 (9)																																																																		
7月	一般市民	治療しながら安心して暮らそう	83 (59)																																																																		
9月	医療従事者	がん医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	41 (18)																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)				自己 評価	評価委員会の検証																													
								検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																												
			<table border="1"> <tr> <td>11月</td> <td>医療従事者</td> <td>病診連携カンファレンス 100 回記念講演会</td> <td>132 (49)</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>医療従事者</td> <td>がん患者の急変事例から学ぶ 医療連携</td> <td>97 (83)</td> </tr> </table> <p>※ () は院外《外数》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん事例の検討を行う「がんカンファレンス」を奇数月に実施、院内・外から 162 人の参加を得た。また、偶数月には、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を実施、院内・外から 294 人の参加を得た。 ・がん認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療養に携わった。 <p>○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等</p> <table border="1"> <tr> <td>がん看護専門看護師 1 人、がん性疼痛看護師認定看護師 1 人、がん化学療法認定看護師 2 人、がん放射線療法認定看護 1 人、乳がん看護認定看護師 1 人、緩和ケア認定看護師 1 人、WOC 3 人、摂食嚥下障害認定看護師 1 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的・精神的な苦痛を和らげる緩和ケアについて、チームとして取り組んだ。 <p>○緩和ケアチームの人員体制等</p> <table border="1"> <tr> <td>・ 医師 7 人、看護師 6 人、薬剤師 2 人、臨床心理士 2 人、栄養士 1 人、リハビリ 4 人</td> </tr> <tr> <td>・ 依頼者数 234 人</td> </tr> </table> <p>○治療の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,356 (78)</td> <td>1,336 (131)</td> <td>1,399 (130)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>3,990</td> <td>4,368</td> <td>4,773</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>1,969</td> <td>2,217</td> <td>2,178</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>380</td> <td>350</td> <td>356</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () はダ・ヴィンチによる手術《内数》</p>	11月	医療従事者	病診連携カンファレンス 100 回記念講演会	132 (49)	3月	医療従事者	がん患者の急変事例から学ぶ 医療連携	97 (83)	がん看護専門看護師 1 人、がん性疼痛看護師認定看護師 1 人、がん化学療法認定看護師 2 人、がん放射線療法認定看護 1 人、乳がん看護認定看護師 1 人、緩和ケア認定看護師 1 人、WOC 3 人、摂食嚥下障害認定看護師 1 人	・ 医師 7 人、看護師 6 人、薬剤師 2 人、臨床心理士 2 人、栄養士 1 人、リハビリ 4 人	・ 依頼者数 234 人	項目/年度	H26	H27	H28	外科的治療	1,356 (78)	1,336 (131)	1,399 (130)	外来がん化学療法	3,990	4,368	4,773	入院がん化学療法	1,969	2,217	2,178	放射線治療	380	350	356			
11月	医療従事者	病診連携カンファレンス 100 回記念講演会	132 (49)																																		
3月	医療従事者	がん患者の急変事例から学ぶ 医療連携	97 (83)																																		
がん看護専門看護師 1 人、がん性疼痛看護師認定看護師 1 人、がん化学療法認定看護師 2 人、がん放射線療法認定看護 1 人、乳がん看護認定看護師 1 人、緩和ケア認定看護師 1 人、WOC 3 人、摂食嚥下障害認定看護師 1 人																																					
・ 医師 7 人、看護師 6 人、薬剤師 2 人、臨床心理士 2 人、栄養士 1 人、リハビリ 4 人																																					
・ 依頼者数 234 人																																					
項目/年度	H26	H27	H28																																		
外科的治療	1,356 (78)	1,336 (131)	1,399 (130)																																		
外来がん化学療法	3,990	4,368	4,773																																		
入院がん化学療法	1,969	2,217	2,178																																		
放射線治療	380	350	356																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
			<p>・がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。</p> <p>○がん相談支援センターの活動実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,438</td> <td>1,075</td> <td>1,435</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成24年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。また、ほっとサロン学習会を2か月ごとに開催、がん患者や家族がともに学び、交流ができる場を確保した。</p> <p>○ほっとサロン利用人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,290</td> <td>1,699</td> <td>1,804</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 女性医療センター(女性医療)</p> <p>・女性医療センターとして、婦人科疾患、乳腺疾患、更年期障害等の女性特有の疾患を中心に、各科の枠を超えた医療を提供することができた。</p> <p>・各診療科の常勤女性医師と臨床心理士による心理カウンセリング等のサポートを実施した。</p> <p>・8階東病棟を「女性専用病棟」とし、女性特有の疾患を持つ患者が安心して治療を受けられるよう、プライバシーの確保や安らぎづくりに努めた。</p> <p>○実績(8階東入院患者数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>625</td> <td>549</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>455</td> <td>518</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>237</td> <td>194</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>75</td> <td>113</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	1,438	1,075	1,435	H26	H27	H28	1,290	1,699	1,804	項目/年度	H26	H27	H28	産婦人科	625	549	479	外科	455	518	522	消化器科	237	194	224	その他	75	113	117			
H26	H27	H28																																				
1,438	1,075	1,435																																				
H26	H27	H28																																				
1,290	1,699	1,804																																				
項目/年度	H26	H27	H28																																			
産婦人科	625	549	479																																			
外科	455	518	522																																			
消化器科	237	194	224																																			
その他	75	113	117																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)			自己 評価	評価委員会の検証	
							検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			合計	1,392	1,374	1,342		
			○女性科疾患 単位：人					
			項目／年度	H26	H27	H28		
			卵巣がん	95	88	108		
			卵巣腫瘍	90	70	59		
			子宮癌（体・内膜）	71	73	59		
			子宮筋腫	93	59	51		
			子宮頸がん	85	91	73		
			乳がん	186	224	236		
			○女性外来患者数 単位：人					
			H26	H27	H28			
			1,461	666	763			
			6 小児医療センター(こども医療) ＜小児医療センター（こども医療）の運営＞ ・小児医療の拠点病院として、一般の医療機関では対応が困難な小児の疾患に対し、高度で専門的な医療を提供した。 ・平成 28 年 4 月、小児感染症内科を新設し、6床の PICU（小児集中治療室）により、重篤な小児患者への対応を行った。 ・岐阜県の小児医療の中心的な役割を担う施設として、日本小児総合医療施設協議会（JACHRI）への参加手続を行った。					
			○PICU における病床稼働状況					
			項目／年度	H26	H27	H28		
			入院患者数（人）	126	215	190		
			稼働率（％）	78.6	59.7	51.5		
			※H27.7（4床→6床）					
			＜重症心身障がい児施設の運営＞ ・濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の容態悪化に対応する小児医療センターの医師呼び出し体制を構築するとともに					

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			<p>に、総合リハビリテーションセンターによる障害の維持・改善や臨床工学部による人工呼吸器等医療機器の点検・管理、薬剤部、栄養管理部の他、医療安全部、感染対策部等と連携したチーム医療を推進した。</p> <p>○施設の人員体制</p> <p>医師3人、看護師15人、児童発達支援管理責任者1人、保育士2人（うち児童指導員1人）、介護福祉士7人（加えて3人を新規採用予定）、理学療法士1人、臨床心理士1名、事務2人</p>			

中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び岐阜地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																					
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進 ・治験症例及び臨床研究受託研究件数において、前年を上回る実績となった。</p> <p>○治験 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>97</td> <td>92</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床研究事業 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H26	H27	H28	治験実施件数	24	29	29	治験症例件数	97	92	95	項目／年度	H26	H27	H28	受託研究件数	55	54	78	III		
項目／年度	H26	H27	H28																							
治験実施件数	24	29	29																							
治験症例件数	97	92	95																							
項目／年度	H26	H27	H28																							
受託研究件数	55	54	78																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証						
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
			<p>○主な臨床研究事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究内容</th> <th>担 当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切除不能進行・再発大腸癌における RAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ベバシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)</td> <td rowspan="2">がん医療センター</td> </tr> <tr> <td>KRAS 遺伝子野生型で化学療法未治療の治療切除不能な進行・再発大腸癌患者に対する一次治療における mFOLFOX6+パニツムマブ併用治療を6 サイクル施行後の mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法と 5FU/LV+パニツムマブ併用療法の第II相無差別化比較試験</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 ・岐阜大学の寄附講座への参加を決定した。 先端画像開発講座 (H29 ~ H33)</p>	研究内容	担 当	切除不能進行・再発大腸癌における RAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ベバシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)	がん医療センター	KRAS 遺伝子野生型で化学療法未治療の治療切除不能な進行・再発大腸癌患者に対する一次治療における mFOLFOX6+パニツムマブ併用治療を6 サイクル施行後の mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法と 5FU/LV+パニツムマブ併用療法の第II相無差別化比較試験			
研究内容	担 当										
切除不能進行・再発大腸癌における RAS 遺伝子変異型に対する一次治療 FOLFOXIRI+ベバシズマブ併用療法の第II相試験(JACCRO CC-11)	がん医療センター										
KRAS 遺伝子野生型で化学療法未治療の治療切除不能な進行・再発大腸癌患者に対する一次治療における mFOLFOX6+パニツムマブ併用治療を6 サイクル施行後の mFOLFOX6+パニツムマブ併用療法と 5FU/LV+パニツムマブ併用療法の第II相無差別化比較試験											
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師が記載した電子カルテについて、記述内容等を診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、医療画像の提供 (6,400 件) やぎふ清流ネットの活用により、病診連携の実現に努めた。また、医療総合情報システム障害時対応マニュアルの見直しを行った。 ・診療情報から抽出した DPC データを分析ソフトで解析するとともに、院内で多職種による分析チームを立ち上げ、コンサルタントを活用しながら9診療科の分析を行った。 <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ上の「退院サマリー」について、病歴管理システムにデータを連携・集計することにより医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」については、がん登録システムを連携させることにより、地域がん登録届出票を作成した。 ・診療内容やカンファレンス等については、診療科・センター毎にホームページにて随時情報提供を行った。 	III							

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証	
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
			・ QI 活動では、京都大学が研究している QIP (Quality Indicator/Improvement Project) 事業 (指標数: 139) に参加し、委員会や医局会等での報告によりフィードバック内容を共有した。			

中期目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 専門医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組へ	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																							
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																						
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い医療従事者の養成</p> <p>2 後期研修医に対する研修等</p>		<p>1 質の高い医療従事者の養成 ・各診療科・部において医療従事者の養成を実施した。</p> <p>○平成 28 年度医師派遣状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">診療科</th> <th style="width: 50%;">派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環器内科</td> <td>榊原記念病院</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>モントリオール小児病院 (カナダ)</td> </tr> <tr> <td>呼吸器内科</td> <td>名古屋医療センター</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>滋賀医科大学</td> </tr> </tbody> </table> <p>○初期臨床研修医数 (各年度末時点) 単位: 人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目/年度</th> <th style="width: 10%;">H26</th> <th style="width: 10%;">H27</th> <th style="width: 10%;">H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	派遣先	循環器内科	榊原記念病院	小児科	モントリオール小児病院 (カナダ)	呼吸器内科	名古屋医療センター	心臓血管外科	滋賀医科大学	項目/年度	H26	H27	H28	医師	31	32	33	歯科医師	1	1	2	III		
診療科	派遣先																											
循環器内科	榊原記念病院																											
小児科	モントリオール小児病院 (カナダ)																											
呼吸器内科	名古屋医療センター																											
心臓血管外科	滋賀医科大学																											
項目/年度	H26	H27	H28																									
医師	31	32	33																									
歯科医師	1	1	2																									

		<p>2 後期研修医に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期研修医（レジデント）に対する研修等を実施した。 <p>○学会参加者数（延べ人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>224</td> <td>190</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>○後期研修医数（各年度末時点） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>39</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	224	190	74	項目／年度	H26	H27	H28	医師	39	31	31	歯科医師	1	0	0																			
H26	H27	H28																																					
224	190	74																																					
項目／年度	H26	H27	H28																																				
医師	39	31	31																																				
歯科医師	1	0	0																																				
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比較し、看護学生・コメディカルを目指す学生の受入人数は増加したが、医学生の受入人数は減少した。 <p>○医学生の実習等受入状況（実人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生（実習）</td> <td>36</td> <td>53</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>医学生（病院見学）</td> <td>81</td> <td>83</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護学生の実習受入状況（延べ人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td>10,217</td> <td>9,475</td> <td>9,520</td> </tr> </tbody> </table> <p>○コメディカルの実習受入状況（実人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コメディカル</td> <td>81</td> <td>74</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の病院実習や救急救命士取得のための臨床実習を積極的に実施した。 <p>○実習受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H26	H27	H28	医学生（実習）	36	53	42	医学生（病院見学）	81	83	90	項目／年度	H26	H27	H28	看護学生	10,217	9,475	9,520	項目／年度	H26	H27	H28	コメディカル	81	74	102	H26	H27	H28				III		
項目／年度	H26	H27	H28																																				
医学生（実習）	36	53	42																																				
医学生（病院見学）	81	83	90																																				
項目／年度	H26	H27	H28																																				
看護学生	10,217	9,475	9,520																																				
項目／年度	H26	H27	H28																																				
コメディカル	81	74	102																																				
H26	H27	H28																																					

			62	74	59			
--	--	--	----	----	----	--	--	--

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、協力病院として県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																													
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																												
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p> <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</p> <p>3 へき地医療対策の支援</p>		<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>・オープン病床クリニカルミーティングを開催し、地域の医療機関との連携を図った。</p> <p>○高度医療機器の共同利用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>405</td> <td>432</td> <td>374</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>367</td> <td>268</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>50</td> <td>52</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>216</td> <td>213</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・共同診療の推進 母と子ども医療センターの夜間・休日診療に7人の開業医師が協力するとともに、各務原市医師会所属医師7人が小児輪番日において共同診療を実施した。</p> <p>○輪番制実施状況 単位：日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>259</td> <td>260</td> <td>275</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	CT	405	432	374	MRI	367	268	133	PET	50	52	0	遠隔画像診断機器	216	213	0	項目/年度	H26	H27	H28	小児	259	260	275	III		
項目/年度	H26	H27	H28																															
CT	405	432	374																															
MRI	367	268	133																															
PET	50	52	0																															
遠隔画像診断機器	216	213	0																															
項目/年度	H26	H27	H28																															
小児	259	260	275																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進歩した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)				自己 評価	評価委員会の検証																																																								
								検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																							
			内科・外科系	65	75	94																																																										
			<p>○開放型病床の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(単位:回)</td> <td>10.7</td> <td>7.2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(単位:%)</td> <td>41.4</td> <td>103.8</td> <td>102.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共同指導回数は月平均 開放型病床 H26:100床 → H27:20床</p> <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ・県立下呂温泉病院や郡上市市民病院等に対して、診療上の人的支援を行った。</p> <p>○他の医療機関への人的支援の状況(延べ人数) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)</td> <td>604</td> <td>609</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>244</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>藤橋国保診療所 ※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所 ※</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市市民病院</td> <td>109</td> <td>67</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,004</td> <td>735</td> <td>720</td> </tr> </tbody> </table> <p>※岐阜県へき地医療支援機構依頼分</p> <p>3 へき地医療対策の支援 ・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結、医師である専任担当官を配置し、へき地診療所等に対する派遣調整やへき地医療従事者に対する研修会を開催した。</p>				項目/年度	H26	H27	H28	共同指導(単位:回)	10.7	7.2	11	病床利用率(単位:%)	41.4	103.8	102.0	項目/年度	H26	H27	H28	県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	604	609	623	高山赤十字病院	11	12	12	揖斐厚生病院	244	1	1	下呂市立金山病院	12	12	12	藤橋国保診療所 ※	—	—	1	久々野診療所 ※	—	9	—	郡上市市民病院	109	67	71	中濃厚生病院	—	2	—	久美愛厚生病院	24	23	—	合計	1,004	735	720		
項目/年度	H26	H27	H28																																																													
共同指導(単位:回)	10.7	7.2	11																																																													
病床利用率(単位:%)	41.4	103.8	102.0																																																													
項目/年度	H26	H27	H28																																																													
県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む)	604	609	623																																																													
高山赤十字病院	11	12	12																																																													
揖斐厚生病院	244	1	1																																																													
下呂市立金山病院	12	12	12																																																													
藤橋国保診療所 ※	—	—	1																																																													
久々野診療所 ※	—	9	—																																																													
郡上市市民病院	109	67	71																																																													
中濃厚生病院	—	2	—																																																													
久美愛厚生病院	24	23	—																																																													
合計	1,004	735	720																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進歩した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																						
			<p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることで医師不足の解消を図る「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加し、県立下呂温泉病院に対して後期研修医を派遣した。</p> <p>○後期研修医のへき地派遣状況（延べ人数） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名・年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>274</td> <td>303</td> <td>313</td> </tr> </tbody> </table>	機関名・年度	H26	H27	H28	県立下呂温泉病院	274	303	313																																	
機関名・年度	H26	H27	H28																																									
県立下呂温泉病院	274	303	313																																									
11	※ 社会的な要請への協力		<p>・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、社会的な要請に対し随時協力を行った。</p> <p>○大学等への派遣実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学への講師（医師・歯科医師）派遣</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>各種学校への講師（看護師）派遣</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>金城学院大学への講師（薬剤師）派遣</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜医療科学大学への講師（臨床検査技師）派遣</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への専門相談員（臨床心理士）派遣</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○講師派遣の状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>50</td> <td>67</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>106</td> <td>124</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	岐阜大学への講師（医師・歯科医師）派遣	41	岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣	70	各種学校への講師（看護師）派遣	9	金城学院大学への講師（薬剤師）派遣	1	岐阜医療科学大学への講師（臨床検査技師）派遣	1	岐阜県衛生専門学校への専門相談員（臨床心理士）派遣	1	項目/年度	H26	H27	H28	医師	43	43	50	歯科医師	1	1	2	看護師	50	67	51	コメディカル	12	13	18	合計	106	124	121	III		
項目	人数																																											
岐阜大学への講師（医師・歯科医師）派遣	41																																											
岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣	70																																											
各種学校への講師（看護師）派遣	9																																											
金城学院大学への講師（薬剤師）派遣	1																																											
岐阜医療科学大学への講師（臨床検査技師）派遣	1																																											
岐阜県衛生専門学校への専門相談員（臨床心理士）派遣	1																																											
項目/年度	H26	H27	H28																																									
医師	43	43	50																																									
歯科医師	1	1	2																																									
看護師	50	67	51																																									
コメディカル	12	13	18																																									
合計	106	124	121																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供		1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・運動と健康をテーマとした一般開放イベント「健康祭2016」を11月に開催、セミナーとして医師が体と運動の関係を紹介する講演を行うとともに、体験コーナー、パネル展示等を実施した。 2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・広報誌「けんこう」及び地域医療連携センター部新聞「れんけい」をそれぞれ2回発行した。 ・プレス発表や取材協力等マスメディアを活用した情報発信を行った。 ・インターネットを通じて、保健医療や健康管理に関する情報提供を行った。	III		

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。
	<p>※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練(公開)を行うなど指導的役割を發揮すること。</p> <p>※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づき DMAT を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</p> <p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。</p> <p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の發揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実		1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・診療時間中に岐阜県美濃地方に震度7の地震が発生し、当	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 基幹災害医療センターとしての機能強化及び指導的役割の推進		院に多数の負傷者が来院または搬送されるという想定で、災害対策本部を立ち上げ、病院機能を通常診療から災害医療体制に切り替える災害対策訓練を実施した。 日 時：平成28年9月10日(土) 参加人員：325人 2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・災害時における医療体制の充実強化のため、岐阜赤十字病院と被害状況及び災害体制についての情報共有訓練を実施した。			
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 2 大規模災害発生時のDMATの派遣		1 大規模災害に対応するための DMAT 体制の確保と訓練・研修 ・大規模災害への対応を図るため、DMAT（2班）及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能の整備を図った。 ・DMAT 隊員養成研修に1人、中部ブロック DMAT 技能維持研修に5人参加した。 2 大規模災害発生時の DMAT の派遣 ・熊本地震に対して医療救護班を派遣し、避難所において医療支援を行った。(DMAT としての派遣はなし) 派遣者 5名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名) 派遣期間 平成28年4月20日～26日	III		
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 2 診療情報のバックアップシステムの構築	2 診療情報のバックアップシステムの構築 ・ローカルPCへ診療情報を蓄積する仕組みを構築するとともに、病棟及び外来へ配備するためのPCを30台調達し、大規模災害、大規模システム障害により医療総合情報システムが停止しても診療の継続が可能な環境を整備した。	1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 ・診療継続計画作成に当たっての課題について、事務局内で検討を行った。 ・被災時において迅速に災害医療体制に移行できるよう「災害対策マニュアル」を作成し、災害対策訓練を行った。	IV		
16	※ 新型インフルエンザ等発生時に		1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	<p>おける役割の発揮</p> <p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p>		<p>備</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療体制等の整備を検討する「新型インフルエンザ等対策準備検討委員会」を引き続き設置し、新型インフルエンザ等の発生に備えた。 <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本病院会が主催する新型インフルエンザ等に係る訓練に参加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・H28. 12. 13 「新型インフルエンザ対策訓練」 (日本病院会主催、伝達訓練) </div>			

中期 目標	<p>1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営 岐阜県が推進する総合療育の拠点として、医療型障害児入所施設の運営を行う。</p> <p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備 在宅で療養を行うことが困難な重症心身障がい児のうち、人工呼吸器装着など濃厚な医療的ケアを要する児を主な対象とする医療型障害児入所施設を運営すること。 入所児に対し、訪問教育を実施する受入れ体制を整えること。 入所児に対し、ダイルーム、図書室兼遊戯室、機能訓練室、言語療養室などの各種施設・設備を活用した療育及び機能訓練プログラム等を行うこと。</p> <p>※ 在宅医療支援体制の充実 レスパイトケア(障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス)のための短期入所機能を整備すること。 入院障がい児の円滑な在宅移行を支援するため、家族に対する医療的ケア指導等の在宅移行に向けた訓練や、在宅医療・療育の相談などを実施すること。 在宅移行後の容体悪化や救急時に対応するための医療支援を行うこと。</p>	
----------	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
17	<p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の整備</p> <p>1 医療型障害児入所施設の運営</p> <p>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</p>		<p>1 医療型障害児入所施設の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 3 月に開所した重症心身障がい児のための入所施設「重症心身障がい児施設 すこやか」における長期入所として、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児を 7 名受け入れ、療育及び生活支援を実施した。 <p>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログ</p>	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			<p>ラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、介護福祉士、管理栄養士等の連携による療育・機能訓練プログラムを実施した。 ・岐阜県立長良特別支援学校の訪問教育の実施に向けて連携を図り、施設利用・学校行事について医教連絡会議や月例連絡会議の実施等、積極的な支援に取り組んだ。 			
18	<p>※ 在宅医療支援体制の充実</p> <p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <p>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</p> <p>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</p>		<p>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 7 月から 2 床(空床利用)で短期入所の受入れを開始し、在宅で生活する重症心身障がい児・者 76 名と契約、118 名延べ 420 日のレスパイトケアを実施した。 <p>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい児の在宅移行に向け、家族に対して障がいの受容や在宅療育等を指導する教育入所の居室準備や指導マニュアルの作成等、在宅移行事案に対応できる体制を整えた。また、在宅生活を支援する地域の福祉サービス事業者等との連携を強化するため、視察・見学を積極的に受け入れた。 <p>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅移行後の容体悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診及び当院での救急医療や入院治療等に対応することとしている。 	III		

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立 自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理 業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証	
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
19	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 2 各種業務のIT化の推進 3 アウトソーシング導入による合理化 4 経営効率の高い業務執行体制の確立 5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立		1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 ・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 医療クランク：H27:53人 → H28:54人 2 各種業務のIT化の推進 ・ASPサービス（Application Service Provider Service：インターネットを通じて顧客にビジネス用アプリケーションをレンタルするサービス）による人事・給与システムを活用し、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算ソフトにより、旅費計算事務の効率化を図った。 3 アウトソーシング導入による合理化 ・庁舎管理部門（設備管理、清掃、防災他）や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的機能を有する部門にこつ	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
			<p>いて、アウトソーシングを導入しており、特に情報システム関連業務、SPD 業務契約において、質・量の見直しを行い経費の節減に努めた。</p> <p>4 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる看護師、診療放射線技師等を再雇用し、更なる充実を図った。</p> <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 ・岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し（H28. 11. 4 開催）、医療事故の現状把握と関係機関との情報共有を行った。</p>																			
20	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 弾力的運用の実施</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <p>3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置</p>		<p>1 弾力的運用の実施 ・平成 28 年度、診療部門に小児感染症内科、小児麻酔科、産科麻酔科、緩和ケアセンターを設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供 ・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラスを採用した。</p> <p>○医師・看護師事務作業補助者数（各年度末時点）単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラス</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>看護クラス</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82</td> <td>81</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置</p>	項目／年度	H26	H27	H28	医療クラス	52	53	54	看護クラス	30	28	29	合計	82	81	83	III		
項目／年度	H26	H27	H28																			
医療クラス	52	53	54																			
看護クラス	30	28	29																			
合計	82	81	83																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
			<p>・人事交流により、人材活用を図る仕組みはあるものの、平成 28 年度は対象となる職種・人材がなかった。</p> <p>○職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コメディカル</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>0(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()は助産師数</p>	項目/年度	H26	H27	H28	コメディカル	2	0	0	項目/年度	H26	H27	H28	看護師	0(1)	0	0	コメディカル	1	0	0	合計	1(1)	0	0			
項目/年度	H26	H27	H28																											
コメディカル	2	0	0																											
項目/年度	H26	H27	H28																											
看護師	0(1)	0	0																											
コメディカル	1	0	0																											
合計	1(1)	0	0																											
21	※ 事務部門の専門性の向上		<p>・病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保するため、プロパー職員を計画的に採用（3人）した。</p> <p>・経営状況の分析を行うことで収益体質の向上や効率的な経営に取り組み、収益の増加やコスト削減に寄与した。また、専門性の向上のため、職務に関連する研修への参加を支援した。</p> <p>○事務職員の状況（各年度末時点） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>41</td> <td>53</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>53</td> <td>64</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	プロパー職員	41	53	54	県派遣職員	12	11	9	合計	53	64	63	III										
項目/年度	H26	H27	H28																											
プロパー職員	41	53	54																											
県派遣職員	12	11	9																											
合計	53	64	63																											
22	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底		<p>・新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。</p> <p>・平成 28 年 10 月、全職員を対象にした個人情報保護に関する研修を実施し、166 人が参加した。</p> <p>・監事監査、内部監査及び監査法人監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。</p>	III																										
23	※ 適切な情報管理	<p>・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、情報ネットワークのセキュリティ対策、USB メモリ等のデバイス制御、メールのウィルスチェック等、情報セキュリティ対策を強化した。</p>		IV																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
		また、病院指定の暗号化機能付き USB メモリ配布にあわせて、全職員向け情報セキュリティ研修を実施、327名の職員が参加した。				

中期 目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <p>※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。</p> <p>※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。</p> <p>※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の削減に努めること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
24	※ 多様な契約手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・複数年契約等を導入し、集約化・簡素化による経費の削減を図った。 ・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。ベンチマークを活用した価格交渉の結果、保険償還価格のない約3,800品目において年間約3,100万円、保険償還のある約7,800品目において年間約5,700万円のコスト削減ができた。 ・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 ・医療機器保守については、交渉等による見直しにより11件約850万円のコスト削減ができた。 		IV		
25	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <p>2 未収金の発生防止対策等</p>	<p>2 未収金の発生防止対策等 <発生防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院説明室で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 	<p>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関等との連携として、共同指導や病床・設備の開放を行い病診連携を推進した。 ・登録医からのFAXによるMRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。 <p>○FAXによる検査予約実績 単位：件</p>	IV		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)				自己評価	評価委員会の検証																																																																																																																											
								検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																																																										
3	総合入院体制加算として退院時の開業医への紹介率等の向上	<p>・医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。</p> <p>・出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</p> <p><回収></p> <p>・毎月2回、定期に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。</p> <p>・督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。</p> <p>・未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。</p> <p>・回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</p> <p>○回収実績（年度未現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額（単位：千円）</td> <td>133,071</td> <td>147,186</td> <td>157,246</td> </tr> <tr> <td>回収金額（単位：千円）</td> <td>50,930</td> <td>59,950</td> <td>66,898</td> </tr> <tr> <td>回収率（単位：%）</td> <td>38.3</td> <td>40.7</td> <td>42.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況（翌年度5月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>657</td> <td>60,094</td> <td>522</td> <td>50,184</td> <td>415</td> <td>46,813</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>358</td> <td>22,209</td> <td>319</td> <td>24,854</td> <td>263</td> <td>30,739</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,015</td> <td>82,303</td> <td>841</td> <td>75,038</td> <td>678</td> <td>77,552</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	委託金額（単位：千円）	133,071	147,186	157,246	回収金額（単位：千円）	50,930	59,950	66,898	回収率（単位：%）	38.3	40.7	42.5		H26		H27		H28		件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	過年度分	657	60,094	522	50,184	415	46,813	現年度分	358	22,209	319	24,854	263	30,739	合計	1,015	82,303	841	75,038	678	77,552	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>1,130</td> <td>1,052</td> <td>816</td> </tr> </tbody> </table> <p>○収入関係数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H28/H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>329,128</td> <td>340,070</td> <td>333,749</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,349</td> <td>1,399</td> <td>1,373</td> <td>98.1%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,940</td> <td>5,449</td> <td>5,826</td> <td>106.9%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>15,011</td> <td>16,023</td> <td>17,458</td> <td>109.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>194,126</td> <td>189,348</td> <td>189,660</td> <td>100.2%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>532</td> <td>517</td> <td>520</td> <td>100.6%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>14,687</td> <td>14,759</td> <td>14,802</td> <td>100.3%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>75,659</td> <td>77,948</td> <td>78,044</td> <td>100.1%</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>12.2</td> <td>11.7</td> <td>11.9</td> <td>101.7%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>%</td> <td>90.1</td> <td>87.7</td> <td>87.0</td> <td>99.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <p>・DPC II 群要件となっている診療密度等の各指標について、維持向上やベンチマーク分析を行った。また、診療報酬改定による新規項目で収益増につながるもの（退院支援加算1（地域連携診療計画加算）等）については算定を行うよう対応し、体制整備により収益増につながると見込まれるもの（特定集中治療室管理料1、総合入院体制加算2、認知症ケア加算、看護職員夜間配置加算等）については院内で情報を共有し、必要なシミュレーションを行った。</p>	項目/年度	H26	H27	H28	FAX 予約	1,130	1,052	816			H26	H27	H28	H28/H27	外来	患者数	人	329,128	340,070	333,749	98.1%	平均患者数	人/日	1,349	1,399	1,373	98.1%	診療額	百万円	4,940	5,449	5,826	106.9%	診療単価	円/日	15,011	16,023	17,458	109.0%	入院	患者数	人	194,126	189,348	189,660	100.2%	平均患者数	人/日	532	517	520	100.6%	診療額	百万円	14,687	14,759	14,802	100.3%	診療単価	円/日	75,659	77,948	78,044	100.1%	在院日数	日	12.2	11.7	11.9	101.7%	病床利用率	%	90.1	87.7	87.0	99.2%		
			項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																													
委託金額（単位：千円）	133,071	147,186	157,246																																																																																																																																
回収金額（単位：千円）	50,930	59,950	66,898																																																																																																																																
回収率（単位：%）	38.3	40.7	42.5																																																																																																																																
	H26		H27		H28																																																																																																																														
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）																																																																																																																													
過年度分	657	60,094	522	50,184	415	46,813																																																																																																																													
現年度分	358	22,209	319	24,854	263	30,739																																																																																																																													
合計	1,015	82,303	841	75,038	678	77,552																																																																																																																													
項目/年度	H26	H27	H28																																																																																																																																
FAX 予約	1,130	1,052	816																																																																																																																																
		H26	H27	H28	H28/H27																																																																																																																														
外来	患者数	人	329,128	340,070	333,749	98.1%																																																																																																																													
	平均患者数	人/日	1,349	1,399	1,373	98.1%																																																																																																																													
	診療額	百万円	4,940	5,449	5,826	106.9%																																																																																																																													
	診療単価	円/日	15,011	16,023	17,458	109.0%																																																																																																																													
入院	患者数	人	194,126	189,348	189,660	100.2%																																																																																																																													
	平均患者数	人/日	532	517	520	100.6%																																																																																																																													
	診療額	百万円	14,687	14,759	14,802	100.3%																																																																																																																													
	診療単価	円/日	75,659	77,948	78,044	100.1%																																																																																																																													
	在院日数	日	12.2	11.7	11.9	101.7%																																																																																																																													
病床利用率	%	90.1	87.7	87.0	99.2%																																																																																																																														
4	国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	<p>3 総合入院体制加算として退院時の開業医への紹介率等の向上</p> <p>・総合入院体制加算（退院時診療情報添付加算算定割合：40%以上）及び地域医療支援病院入院診療加算（紹介率：50%以上、逆紹介率：</p>																																																																																																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																								
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																							
		70%以上) の算定基準 (要件) を達成することができた。 ○紹介率・逆紹介率等 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (単位: %)</td> <td>63.4</td> <td>64.1</td> <td>72.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数 (単位: 件)</td> <td>15,717</td> <td>16,440</td> <td>15,619</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (単位: %)</td> <td>83.1</td> <td>84.2</td> <td>94.1</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数 (単位: 件)</td> <td>20,587</td> <td>20,111</td> <td>20,338</td> </tr> <tr> <td>退院時加算 (単位: %)</td> <td>50.1</td> <td>49.9</td> <td>48.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H26	H27	H28	紹介率 (単位: %)	63.4	64.1	72.3	紹介実施件数 (単位: 件)	15,717	16,440	15,619	逆紹介率 (単位: %)	83.1	84.2	94.1	逆紹介実施件数 (単位: 件)	20,587	20,111	20,338	退院時加算 (単位: %)	50.1	49.9	48.5			
項目／年度	H26	H27	H28																										
紹介率 (単位: %)	63.4	64.1	72.3																										
紹介実施件数 (単位: 件)	15,717	16,440	15,619																										
逆紹介率 (単位: %)	83.1	84.2	94.1																										
逆紹介実施件数 (単位: 件)	20,587	20,111	20,338																										
退院時加算 (単位: %)	50.1	49.9	48.5																										

項目No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																	
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																
26	※ 費用の削減 1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底 2 後発医薬品の効率的採用		1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底 ・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用等による費用の削減を図った。 ・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減に取り組んだ。 ○ジェネリック医薬品使用単位数実績 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>10.15</td> <td>20.86</td> <td>21.85</td> </tr> </tbody> </table> ○ジェネリック医薬品の使用率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>8.80</td> <td>16.58</td> <td>18.29</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>5.43</td> <td>7.18</td> <td>5.88</td> </tr> </tbody> </table> ※病院全体で使用した医薬品に対する後発医薬品の割合 ○医薬収益に対する材料費比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>13.42</td> <td>14.65</td> <td>15.64</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>15.77</td> <td>15.71</td> <td>15.19</td> </tr> </tbody> </table> 2 後発医薬品の効率的採用 ・先発医薬品から後発医薬品に、院内コンセンサスを得ながら変更を推進した。その結果、平成29年3月末現在、後発医薬品使用率が85.5%となった。 ※後発医薬品がある医薬品に対する後発医薬品への切り替えが完了した割合	項目/年度	H26	H27	H28	使用率	10.15	20.86	21.85	項目/年度	H26	H27	H28	品目ベース	8.80	16.58	18.29	金額ベース	5.43	7.18	5.88	項目/年度	H26	H27	H28	薬品費	13.42	14.65	15.64	診療材料費	15.77	15.71	15.19	III		
項目/年度	H26	H27	H28																																			
使用率	10.15	20.86	21.85																																			
項目/年度	H26	H27	H28																																			
品目ベース	8.80	16.58	18.29																																			
金額ベース	5.43	7.18	5.88																																			
項目/年度	H26	H27	H28																																			
薬品費	13.42	14.65	15.64																																			
診療材料費	15.77	15.71	15.19																																			

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進歩した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																								
27	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。		中期計画上の取組を確実に実施することで、業務運営の改善及び効率化を進めた。その結果、経常収支比率については98.8%と年度計画の目標を若干下回ったが、職員給与費対医業収益比率については48.9%と年度計画の目標を達成した。 ○経常収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>101.6</td> <td>99.6</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率(人件費比率)</td> <td>47.5</td> <td>48.4</td> <td>48.9</td> </tr> </tbody> </table> *人件費比率については、重症心身障がい児施設を除く ○決算(平成28年度) 単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>22,211</td> <td>22,631</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>20,448</td> <td>20,953</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,311</td> <td>1,293</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児施設収益</td> <td>92</td> <td>76</td> <td>▲16</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>361</td> <td>307</td> <td>▲54</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>213</td> <td>200</td> <td>▲13</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>153</td> <td>141</td> <td>▲12</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>60</td> <td>59</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,216</td> <td>1,828</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>236</td> <td>836</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>980</td> <td>978</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	経常収支比率	101.6	99.6	98.8	職員給与費対医業収益比率(人件費比率)	47.5	48.4	48.9	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	22,211	22,631	420	医業収益	20,448	20,953	505	運営費負担金収益	1,311	1,293	▲18	重症心身障がい児施設収益	92	76	▲16	その他営業収益	361	307	▲54	営業外収益	213	200	▲13	運営費負担金収益	153	141	▲12	その他営業外収益	60	59	▲1	資本収入	1,216	1,828	612	長期借入金	236	836	600	運営費負担金	980	978	▲2	その他資本収入	—	14	14	その他の収入	—	3	3	IIIc		
項目/年度	H26	H27	H28																																																																											
経常収支比率	101.6	99.6	98.8																																																																											
職員給与費対医業収益比率(人件費比率)	47.5	48.4	48.9																																																																											
区 分	計画額	決算額	増減																																																																											
収入																																																																														
営業収益	22,211	22,631	420																																																																											
医業収益	20,448	20,953	505																																																																											
運営費負担金収益	1,311	1,293	▲18																																																																											
重症心身障がい児施設収益	92	76	▲16																																																																											
その他営業収益	361	307	▲54																																																																											
営業外収益	213	200	▲13																																																																											
運営費負担金収益	153	141	▲12																																																																											
その他営業外収益	60	59	▲1																																																																											
資本収入	1,216	1,828	612																																																																											
長期借入金	236	836	600																																																																											
運営費負担金	980	978	▲2																																																																											
その他資本収入	—	14	14																																																																											
その他の収入	—	3	3																																																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進歩した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																																				
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>計</th> <th>23,639</th> <th>24,664</th> <th>1,025</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>20,147</td> <td>20,526</td> <td>379</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>19,493</td> <td>19,924</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>9,657</td> <td>9,688</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>6,540</td> <td>7,105</td> <td>565</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>3,096</td> <td>2,974</td> <td>▲122</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>201</td> <td>156</td> <td>▲45</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児 施設費用</td> <td>315</td> <td>245</td> <td>▲70</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>340</td> <td>356</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>299</td> <td>322</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>41</td> <td>33</td> <td>▲8</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>230</td> <td>209</td> <td>▲21</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>3,241</td> <td>3,091</td> <td>▲150</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>1,041</td> <td>924</td> <td>▲117</td> </tr> <tr> <td> 償還金</td> <td>2,155</td> <td>2,137</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td> その他資本支出</td> <td>45</td> <td>29</td> <td>▲16</td> </tr> <tr> <td> その他の支出</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,619</td> <td>23,831</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注記 略)</p> <p>○収支計画に対する実績 (平成28年度) 単位: 百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>22,395</td> <td>22,806</td> <td>411</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>22,186</td> <td>22,606</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>20,417</td> <td>20,920</td> <td>503</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,311</td> <td>1,293</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td> 資産見返負債戻入</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 重症心身障がい児 施設収益</td> <td>91</td> <td>76</td> <td>▲15</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>349</td> <td>298</td> <td>▲51</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>209</td> <td>196</td> <td>▲13</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>153</td> <td>141</td> <td>▲12</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>56</td> <td>55</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td> 臨時利益</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>費用の部</td> <td>22,380</td> <td>23,079</td> <td>699</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>21,384</td> <td>22,068</td> <td>684</td> </tr> </tbody> </table>	計	23,639	24,664	1,025	支出				営業費用	20,147	20,526	379	医業費用	19,493	19,924	431	給与費	9,657	9,688	31	材料費	6,540	7,105	565	経費	3,096	2,974	▲122	研究研修費	201	156	▲45	重症心身障がい児 施設費用	315	245	▲70	一般管理費	340	356	16	給与費	299	322	23	経費	41	33	▲8	営業外費用	230	209	▲21	資本支出	3,241	3,091	▲150	建設改良費	1,041	924	▲117	償還金	2,155	2,137	▲18	その他資本支出	45	29	▲16	その他の支出	—	3	3	計	23,619	23,831	212	区 分	計画額	決算額	増減	収益の部	22,395	22,806	411	営業収益	22,186	22,606	420	医業収益	20,417	20,920	503	運営費負担金収益	1,311	1,293	▲18	資産見返負債戻入	17	17	0	重症心身障がい児 施設収益	91	76	▲15	その他営業収益	349	298	▲51	営業外収益	209	196	▲13	運営費負担金収益	153	141	▲12	その他営業外収益	56	55	▲1	臨時利益	—	3	3	費用の部	22,380	23,079	699	営業費用	21,384	22,068	684		
計	23,639	24,664	1,025																																																																																																																																						
支出																																																																																																																																									
営業費用	20,147	20,526	379																																																																																																																																						
医業費用	19,493	19,924	431																																																																																																																																						
給与費	9,657	9,688	31																																																																																																																																						
材料費	6,540	7,105	565																																																																																																																																						
経費	3,096	2,974	▲122																																																																																																																																						
研究研修費	201	156	▲45																																																																																																																																						
重症心身障がい児 施設費用	315	245	▲70																																																																																																																																						
一般管理費	340	356	16																																																																																																																																						
給与費	299	322	23																																																																																																																																						
経費	41	33	▲8																																																																																																																																						
営業外費用	230	209	▲21																																																																																																																																						
資本支出	3,241	3,091	▲150																																																																																																																																						
建設改良費	1,041	924	▲117																																																																																																																																						
償還金	2,155	2,137	▲18																																																																																																																																						
その他資本支出	45	29	▲16																																																																																																																																						
その他の支出	—	3	3																																																																																																																																						
計	23,619	23,831	212																																																																																																																																						
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																																																						
収益の部	22,395	22,806	411																																																																																																																																						
営業収益	22,186	22,606	420																																																																																																																																						
医業収益	20,417	20,920	503																																																																																																																																						
運営費負担金収益	1,311	1,293	▲18																																																																																																																																						
資産見返負債戻入	17	17	0																																																																																																																																						
重症心身障がい児 施設収益	91	76	▲15																																																																																																																																						
その他営業収益	349	298	▲51																																																																																																																																						
営業外収益	209	196	▲13																																																																																																																																						
運営費負担金収益	153	141	▲12																																																																																																																																						
その他営業外収益	56	55	▲1																																																																																																																																						
臨時利益	—	3	3																																																																																																																																						
費用の部	22,380	23,079	699																																																																																																																																						
営業費用	21,384	22,068	684																																																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進歩した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																				
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																			
			<table border="1"> <tr><td>医業費用</td><td>20,744</td><td>21,413</td><td>669</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>9,651</td><td>9,931</td><td>280</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>6,061</td><td>6,560</td><td>499</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,961</td><td>2,005</td><td>44</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,882</td><td>2,774</td><td>▲108</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>189</td><td>142</td><td>▲47</td></tr> <tr><td>重症心身障がい児 施設費用</td><td>300</td><td>311</td><td>11</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>227</td><td>216</td><td>▲11</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>23</td><td>7</td><td>▲16</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>15</td><td>50</td><td>35</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>35</td><td>36</td><td>1</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>—</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>340</td><td>343</td><td>3</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>298</td><td>307</td><td>9</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>4</td><td>3</td><td>▲1</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>38</td><td>31</td><td>▲7</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>996</td><td>1,007</td><td>11</td></tr> <tr><td>臨時損失</td><td>—</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>予備費</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>15</td><td>▲272</td><td>▲287</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>15</td><td>▲272</td><td>▲287</td></tr> </table> <p>(注記 略)</p> <p>○資金計画に対する実績 (平成28年度) 単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>38,367</td> <td>40,588</td> <td>2,221</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>22,151</td> <td>22,661</td> <td>510</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>20,539</td> <td>21,075</td> <td>536</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,463</td> <td>1,434</td> <td>▲29</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>148</td> <td>150</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>31</td> <td>370</td> <td>339</td> </tr> </tbody> </table>	医業費用	20,744	21,413	669	給与費	9,651	9,931	280	材料費	6,061	6,560	499	減価償却費	1,961	2,005	44	経費	2,882	2,774	▲108	研究研修費	189	142	▲47	重症心身障がい児 施設費用	300	311	11	給与費	227	216	▲11	材料費	23	7	▲16	減価償却費	15	50	35	経費	35	36	1	研究研修費	—	0	0	一般管理費	340	343	3	給与費	298	307	9	減価償却費	4	3	▲1	経費	38	31	▲7	営業外費用	996	1,007	11	臨時損失	—	3	3	予備費	—	—	—	純利益	15	▲272	▲287	目的積立金取崩額	—	—	—	総利益	15	▲272	▲287	区 分	計画額	決算額	増減	資金収入	38,367	40,588	2,221	業務活動による収入	22,151	22,661	510	診療業務による収入	20,539	21,075	536	運営費負担金による収入	1,463	1,434	▲29	その他の業務活動による収入	148	150	2	投資活動による収入	31	370	339		
医業費用	20,744	21,413	669																																																																																																																						
給与費	9,651	9,931	280																																																																																																																						
材料費	6,061	6,560	499																																																																																																																						
減価償却費	1,961	2,005	44																																																																																																																						
経費	2,882	2,774	▲108																																																																																																																						
研究研修費	189	142	▲47																																																																																																																						
重症心身障がい児 施設費用	300	311	11																																																																																																																						
給与費	227	216	▲11																																																																																																																						
材料費	23	7	▲16																																																																																																																						
減価償却費	15	50	35																																																																																																																						
経費	35	36	1																																																																																																																						
研究研修費	—	0	0																																																																																																																						
一般管理費	340	343	3																																																																																																																						
給与費	298	307	9																																																																																																																						
減価償却費	4	3	▲1																																																																																																																						
経費	38	31	▲7																																																																																																																						
営業外費用	996	1,007	11																																																																																																																						
臨時損失	—	3	3																																																																																																																						
予備費	—	—	—																																																																																																																						
純利益	15	▲272	▲287																																																																																																																						
目的積立金取崩額	—	—	—																																																																																																																						
総利益	15	▲272	▲287																																																																																																																						
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																																																						
資金収入	38,367	40,588	2,221																																																																																																																						
業務活動による収入	22,151	22,661	510																																																																																																																						
診療業務による収入	20,539	21,075	536																																																																																																																						
運営費負担金による収入	1,463	1,434	▲29																																																																																																																						
その他の業務活動による収入	148	150	2																																																																																																																						
投資活動による収入	31	370	339																																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																											
			<table border="1"> <tr> <td>運営費負担金による収入</td> <td>31</td> <td>44</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>その他の投資活動による収入</td> <td>—</td> <td>325</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>1,185</td> <td>1,770</td> <td>585</td> </tr> <tr> <td>長期借入による収入</td> <td>236</td> <td>836</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>その他の財務活動による収入</td> <td>949</td> <td>934</td> <td>▲15</td> </tr> <tr> <td>前事業年度からの繰越金</td> <td>15,000</td> <td>15,787</td> <td>787</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>38,367</td> <td>40,588</td> <td>2,221</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>20,105</td> <td>20,687</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>給与費支出</td> <td>10,183</td> <td>10,236</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>材料費支出</td> <td>6,564</td> <td>7,212</td> <td>648</td> </tr> <tr> <td>その他の業務活動による支出</td> <td>3,357</td> <td>3,237</td> <td>▲120</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>1,086</td> <td>1,343</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td>有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,041</td> <td>1,316</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>その他の投資活動による支出</td> <td>45</td> <td>26</td> <td>▲19</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>2,155</td> <td>2,137</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td>長期借入金の返済による支出</td> <td>1,695</td> <td>1,677</td> <td>▲18</td> </tr> <tr> <td>移行前地方債償還債務の償還による支出</td> <td>460</td> <td>459</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>その他の財務活動による支出</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>翌事業年度への繰越金</td> <td>15,021</td> <td>16,421</td> <td>1,400</td> </tr> </table>	運営費負担金による収入	31	44	13	その他の投資活動による収入	—	325	325	財務活動による収入	1,185	1,770	585	長期借入による収入	236	836	600	その他の財務活動による収入	949	934	▲15	前事業年度からの繰越金	15,000	15,787	787	資金支出	38,367	40,588	2,221	業務活動による支出	20,105	20,687	582	給与費支出	10,183	10,236	53	材料費支出	6,564	7,212	648	その他の業務活動による支出	3,357	3,237	▲120	投資活動による支出	1,086	1,343	257	有形固定資産の取得による支出	1,041	1,316	275	その他の投資活動による支出	45	26	▲19	財務活動による支出	2,155	2,137	▲18	長期借入金の返済による支出	1,695	1,677	▲18	移行前地方債償還債務の償還による支出	460	459	▲1	その他の財務活動による支出	—	—	—	翌事業年度への繰越金	15,021	16,421	1,400		
運営費負担金による収入	31	44	13																																																																														
その他の投資活動による収入	—	325	325																																																																														
財務活動による収入	1,185	1,770	585																																																																														
長期借入による収入	236	836	600																																																																														
その他の財務活動による収入	949	934	▲15																																																																														
前事業年度からの繰越金	15,000	15,787	787																																																																														
資金支出	38,367	40,588	2,221																																																																														
業務活動による支出	20,105	20,687	582																																																																														
給与費支出	10,183	10,236	53																																																																														
材料費支出	6,564	7,212	648																																																																														
その他の業務活動による支出	3,357	3,237	▲120																																																																														
投資活動による支出	1,086	1,343	257																																																																														
有形固定資産の取得による支出	1,041	1,316	275																																																																														
その他の投資活動による支出	45	26	▲19																																																																														
財務活動による支出	2,155	2,137	▲18																																																																														
長期借入金の返済による支出	1,695	1,677	▲18																																																																														
移行前地方債償還債務の償還による支出	460	459	▲1																																																																														
その他の財務活動による支出	—	—	—																																																																														
翌事業年度への繰越金	15,021	16,421	1,400																																																																														
			(注記 略)																																																																														

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 短期借入金の限度額		1 限度額	—		

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		<ul style="list-style-type: none"> 1 0億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 実績なし 			

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当 該財産の処分に関する計画		<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	—		

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に 供しようとするときは、その計画		<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	—		

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組／今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	※ 剰余金の使途		<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	—		

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																			
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
28	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 2 職員の健康管理対策の充実 3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実	3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実 ・平成24年2月から24時間保育を開始している。 ・平成28年4月から病児・病後児保育を開始するとともに、利便性の向上と業務の効率化を図るため、保育業務を外部に委託した。 ○院内保育所の運営状況(年度末現在) ・入所施設(こぼと) 単位:人 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>43</td> <td>47</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> ・病児・病後児保育施設(ノンビ) 単位:人 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>保育士・看護師数</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H26	H27	H28	入所者数	43	47	47	保育士数	9	10	18	項目/年度	H28	延べ利用者数	94	保育士・看護師数	3	1 職員の就労環境の整備 ・平成29年1月施行の改正男女雇用機会均等法及び改正育児介護休業法による妊娠、産前・産後休業、育児休業等を理由とする不利益取扱いの禁止について、ハラスメント防止規程の改正を行った。 ・ハラスメント相談窓口の責任者を総務課長とし、相談を受けける職員として管理調整担当職員を置いた。相談があった時の具体的手順を要領として明文化した。 ・24時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化した。 ・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。 ・医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。 ・平成28年4月から開所した病児・病後児保育施設の運用について、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」で検討を行い、保育所運営を行う保育所運営協議会に対して運用の見直しと改善についての提言を行った。保育所運営協議会で開所時間の見直しを行い、利便性向上を図った結果、利用者の増加に繋がった。 ・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。 ・勤務実態に合わせ、4週単位から1月単位の変形労働時間制に変更している。また、医師やコメディカルも変形労働時間制に	IV		
項目/年度	H26	H27	H28																					
入所者数	43	47	47																					
保育士数	9	10	18																					
項目/年度	H28																							
延べ利用者数	94																							
保育士・看護師数	3																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証													
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
			<p>よる勤務とし、時間外勤務時間の縮減に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医局会や看護師長会を通じ、代休の取得や週休日の振替の徹底を図った。 <p>○代休等取得状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>46</td> <td>37</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>1,176</td> <td>1,445</td> <td>1,142</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 職員の健康管理対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康管理対策の充実を図った。 <p><健康診断></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方独立行政法人化前と同様の一般定期健康診断に加え、非常勤職員に対しては、協会けんぽの生活習慣病予防検診を活用、人間ドックを希望する常勤職員に対しては、共済組合の助成を受け、人間ドックを実施した。 ・有害な業務に従事する職員に対しても、引き続き特殊健康診断を実施した。平成25年度からのVDT作業従事者に対する健診を継続実施した。 <p><任意検査等（各種抗体検査、予防接種等）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年に引き続き、B型肝炎検査及び小児ウイルス検査を実施した。その結果、抗体が陰性で予防接種を希望する職員に対しては、B型肝炎ワクチン及び小児ウイルスワクチンの接種を実施した。 ・また、希望する職員に対してはインフルエンザワクチンの接種を実施した。 <p><メンタルヘルス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『岐阜県総合医療センターにおける心の健康づくり計画』に則り、メンタルヘルス対策の推進を図った。 ・院内に職員が相談しやすい相談窓口（さわやか健康相談）を設 	項目/年度	H26	H27	H28	代休取得	46	37	53	週休日振替	1,176	1,445	1,142			
項目/年度	H26	H27	H28															
代休取得	46	37	53															
週休日振替	1,176	1,445	1,142															

項目No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証																																
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																															
			置するとともに専任の臨床心理士を雇用し、内部の相談窓口の充実を図った。 ・外部の相談窓口として、「心の健康相談」事業を黒田クリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。 ・ストレスチェックを実施し、結果を衛生・労働安全委員会に報告した。																																		
29	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		・岐阜県へ1名の退職派遣を行った。 ○職員の他法人への出向状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>(4)</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2(4)</td> <td>(2)</td> <td>(1)</td> </tr> </tbody> </table> ※ () は岐阜県への退職派遣者数《外数》 ○他法人職員の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>0(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> ※ () は助産師数《外数》	項目/年度	H26	H27	H28	看護師	(4)	(2)	(1)	コメディカル	2	0	0	合計	2(4)	(2)	(1)	項目/年度	H26	H27	H28	看護師	0(1)	0	0	コメディカル	1	0	0	合計	1(1)	0	0	III	
項目/年度	H26	H27	H28																																		
看護師	(4)	(2)	(1)																																		
コメディカル	2	0	0																																		
合計	2(4)	(2)	(1)																																		
項目/年度	H26	H27	H28																																		
看護師	0(1)	0	0																																		
コメディカル	1	0	0																																		
合計	1(1)	0	0																																		
30	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 医療機器の計画的な更新・整備 2 診療施設等の計画的な整備		1 医療機器の計画的な更新・整備 ・医療機器について、計画的な整備を実施した。 ○医療機器・施設整備に関する総投資額 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>投資額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,165百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> 2 診療施設等の計画的な整備 ・医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、中央材料室や中央放射線部の医療機器等の更新を行い、効果的かつ安全な医療に対応する環境を整えた。		投資額	財源	病院施設、医療機器等整備	1,165百万円	設立団体からの長期借入金等	III																											
	投資額	財源																																			
病院施設、医療機器等整備	1,165百万円	設立団体からの長期借入金等																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H28年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																															
31	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<p>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</p> <p>○債務の償還状況(合計) 単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>752</td> <td>752</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>2,137</td> <td>2,137</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td></td> <td>982</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td></td> <td>873</td> </tr> <tr> <td>31年</td> <td></td> <td>1,423</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>6,168</td> </tr> </tbody> </table> <p>*第1期中期計画(H22~H26) 実績10,826千円、計画10,826千円</p> <p><内訳></p> <p>○移行前地方債償還債務 単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>449</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>459</td> <td>459</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td></td> <td>462</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td></td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>31年</td> <td></td> <td>993</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>2,750</td> </tr> </tbody> </table> <p>*第1期中期計画(H22~H26) 実績10,826千円、計画10,826千円</p> <p>○長期借入金償還額 単位:百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>303</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>1,677</td> <td>1,677</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td></td> <td>519</td> </tr> <tr> <td>30年</td> <td></td> <td>487</td> </tr> <tr> <td>31年</td> <td></td> <td>429</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3,417</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	27年	752	752	28年	2,137	2,137	29年		982	30年		873	31年		1,423	中期計画期間計		6,168	年度	実績	計画	27年	449	449	28年	459	459	29年		462	30年		386	31年		993	中期計画期間計		2,750	年度	実績	計画	27年	303	303	28年	1,677	1,677	29年		519	30年		487	31年		429	中期計画期間計		3,417	III		
年度	実績	計画																																																																			
27年	752	752																																																																			
28年	2,137	2,137																																																																			
29年		982																																																																			
30年		873																																																																			
31年		1,423																																																																			
中期計画期間計		6,168																																																																			
年度	実績	計画																																																																			
27年	449	449																																																																			
28年	459	459																																																																			
29年		462																																																																			
30年		386																																																																			
31年		993																																																																			
中期計画期間計		2,750																																																																			
年度	実績	計画																																																																			
27年	303	303																																																																			
28年	1,677	1,677																																																																			
29年		519																																																																			
30年		487																																																																			
31年		429																																																																			
中期計画期間計		3,417																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H28 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
32	※ 積立金の使途		・前期目標期間繰越積立金 (83,737,816 円) をNICUの拡張工事に充てた。	III		